

平成25年度第2回契約監視委員会 議事概要
(平成25年度契約分)

1. 日時

平成25年9月30日(月) 13:30~15:30

2. 場所

独立行政法人海洋研究開発機構 東京事務所

3. 出席委員(敬称略)

他谷 康(委員長)

中原 裕幸

富岡 英次

上岡 広治

杉本 信幸

柳澤 義一

4. 審議概要

- (1) 平成25年度第1四半期の対象案件の概要について経理部調達担当役から説明があり、各案件に対する経理部の対応について審議が行われた。
- (2) 平成25年度第1四半期における契約(競争性のない随意契約、一者応札、一者応募)について、委員長から全件の点検結果について報告があり、指摘事項について審議が行われ、点検結果について了承された。
- (3) 2ヶ年連続一者応札・応募改善状況のフォローアップ票について事務局より説明があり、案件ごとに審議が行われ了承された。
- (4) これからの随意契約に関する事前確認について経理部担当者より説明があり案件ごとに審議が行われた。

以上

平成25年度第3回契約監視委員会 議事概要
(平成25年度契約分)

1. 日時

平成25年12月11日(水) 13:30~15:30

2. 場所

独立行政法人海洋研究開発機構 東京事務所

3. 出席委員(敬称略)

他谷 康(委員長)

中原 裕幸

富岡 英次

上岡 広治

杉本 信幸

柳澤 義一

4. 審議概要

- (1) 平成25年度第2四半期の対象案件の概要について経理部調達担当役より説明があり、審議が行われ了承された。
- (2) 平成25年度第2四半期新規随意契約の事前点検結果について委員長から報告があり、案件ごとに審議を行い点検結果について了承された。
- (3) 2ヶ年連続一者応札・応募等改善状況のフォローアップについて事務局より説明があり、案件ごとに審議が行われ了承された。
- (4) これからの随意契約に関する事前確認について経理部担当者より説明があり案件ごとに審議が行われた。

以上

平成25年度第4回契約監視委員会 議事概要
(平成25年度契約分)

1. 日時

平成26年3月17日(月) 14:00～15:40

2. 場所

独立行政法人海洋研究開発機構 東京事務所

3. 出席委員(敬称略)

他谷 康(委員長)

中原 裕幸

富岡 英次

上岡 広治

杉本 信幸

柳澤 義一

4. 審議概要

- (1) 平成25年度第3四半期の対象案件の概要について経理部調達担当役より説明があり、審議が行われ了承された。
- (2) 平成25年度第3四半期新規随意契約の事前点検結果について委員長から報告があり、案件ごとに審議が行われ点検結果について了承された。
- (3) 2ヶ年連続一者応札・応募等改善状況のフォローアップについて事務局より説明があり、案件ごとに審議が行われ了承された。
- (4) これからの随意契約に関する事前確認について経理部担当者より説明があり案件ごとに審議が行われた。

以上

平成26年度第1回契約監視委員会 議事概要
(平成25年度契約分)

1. 日時

平成26年6月18日(水) 13:30~15:30

2. 場所

独立行政法人海洋研究開発機構 東京事務所

3. 出席委員(敬称略)

他谷 康(委員長)

前田 裕子

富岡 英次

上岡 広治

杉本 信幸

柳澤 義一

4. 審議概要

- (1) 新監事就任に伴う委員の交代について委員長より紹介があり、新任の前田裕子氏より挨拶があった。
- (2) 平成25年度第4四半期の対象案件の概要について経理部調達担当役より説明があり、各案件に対する経理部の対応について審議が行われ了承された。
- (3) 平成25年度第4四半期における競争性のない随意契約の事前点検結果について委員長より報告があり、了承された。
- (4) 2ヶ年連続一者応札・応募改善状況のフォローアップについて事務局より説明があり、案件ごとに審議が行われ了承された。
- (5) 調達における改善策等の実施状況について経理部担当者より説明があり、今後も積極的な取り組みを検討・実施していくことを確認した。

以上

法人名	独立行政法人海洋研究開発機構	独立行政法人海洋研究開発機構	独立行政法人海洋研究開発機構	独立行政法人海洋研究開発機構	独立行政法人海洋研究開発機構
案件番号	13000224-1 X1	13000289-1 X1	13000028-1 X1	13000254-1 X1	13000205-1 X1
入札及び契約方式	一般競争入札	一般競争入札	一般競争入札	一般競争入札	一般競争入札
契約の件名及び数量	高知コア研究所で使用する電気の供給	IDL/ENVIライセンスの保守	ProMAX2D保守	RAID装置の保守	Decision Space Desktop保守
契約締結日	平成25年4月1日	平成25年4月1日	平成25年4月1日	平成25年4月1日	平成25年4月1日
契約相手方の商号又は名称等	四国電力株式会社 高知支店	Exelis VIS株式会社	伊藤忠テクノソリューションズ株式会社 科学システム事業部	株式会社ニューテック	伊藤忠テクノソリューションズ株式会社 科学システム事業部
入札経緯及び結果	入札公告:平成25年2月1日～平成25年2月12日 書類締切:平成25年2月20日 開札日:平成25年3月8日	入札公告:平成25年2月12日～平成25年2月21日 書類締切:平成25年2月28日 開札日:平成25年3月14日	入札公告:平成25年1月18日～平成25年1月28日 書類締切:平成25年2月4日 開札日:平成25年2月18日	入札公告:平成25年1月28日～平成25年2月6日 書類締切:平成25年2月20日 開札日:平成25年3月5日	入札公告:平成25年1月28日～平成25年2月6日 書類締切:平成25年2月19日 開札日:平成25年3月5日

一者応札・応募の改善取組内容	改善項目	状況	具体的な取組の内容									
	①調達予定情報の公表と応札者底辺の拡大	○	調達情報メールマガジンを配信した。	○								
②公告へ仕様書等の添付	○	入札公告、公募公告へ仕様書等を添付した。	○	入札公告、公募公告へ仕様書等を添付した。	○	入札公告、公募公告へ仕様書等を添付した。	○	入札公告、公募公告へ仕様書等を添付した。	○	入札公告、公募公告へ仕様書等を添付した。	○	入札公告、公募公告へ仕様書等を添付した。
③仕様書の見直し等	○	過度な要件を禁止した。	○	過度な要件を禁止した。	○	過度な要件を禁止した。	○	過度な要件を禁止した。	○	過度な要件を禁止した。	○	過度な要件を禁止した。
④書類提出締切までの期間確保	-	総合評価落札方式における提案書作成期間を20日間以上確保した。	-	総合評価落札方式における提案書作成期間を20日間以上確保した。	-	総合評価落札方式における提案書作成期間を20日間以上確保した。	-	総合評価落札方式における提案書作成期間を20日間以上確保した。	-	総合評価落札方式における提案書作成期間を20日間以上確保した。	-	総合評価落札方式における提案書作成期間を20日間以上確保した。
⑤地方拠点所在市役所等への公告の掲示	○	地方拠点案件の公告は、所在する市役所等へ掲示依頼した。	-	地方拠点案件の公告は、所在する市役所等へ掲示依頼した。								
⑥地方拠点における入札会の参加場所選択方式の採用	○	入札会参加場所を選択出来るようにした。	-	入札会参加場所を選択出来るようにした。								
⑦入札参加辞退理由による辞退理由の把握	○	辞退理由を把握する事により、今後の参考とすることとした。	○	辞退理由を把握する事により、今後の参考とすることとした。	○	辞退理由を把握する事により、今後の参考とすることとした。	○	辞退理由を把握する事により、今後の参考とすることとした。	○	辞退理由を把握する事により、今後の参考とすることとした。	○	辞退理由を把握する事により、今後の参考とすることとした。

法人における事後点検の結果講ずることとした措置	一者応札・応募等の取り組みは、現在対応可能な方策を全て実施した。	一者応札・応募等の取り組みは、現在対応可能な方策を全て実施した。	一者応札・応募等の取り組みは、現在対応可能な方策を全て実施した。	一者応札・応募等の取り組みは、現在対応可能な方策を全て実施した。	一者応札・応募等の取り組みは、現在対応可能な方策を全て実施した。
-------------------------	----------------------------------	----------------------------------	----------------------------------	----------------------------------	----------------------------------

契約監視委員会のコメント	上記のとおり、法人における改善取り組みはほぼ実施されているが、要求仕様を満たせる業者が他に存在する可能性もあり、今後はメールマガジン登録会社だけでなく、関連業界の団体・加盟企業等を通じて業者情報の収集に努め、応札者・登録者を増やし、入札情報の周知を拡大していく必要がある。	上記のとおり、法人における改善取り組みはほぼ実施されているが、要求仕様を満たせる業者が他に存在する可能性もあり、今後はメールマガジン登録会社だけでなく、関連業界の団体・加盟企業等を通じて業者情報の収集に努め、応札者・登録者を増やし、入札情報の周知を拡大していく必要がある。	上記のとおり、法人における改善取り組みはほぼ実施されているが、要求仕様を満たせる業者が他に存在する可能性もあり、今後はメールマガジン登録会社だけでなく、関連業界の団体・加盟企業等を通じて業者情報の収集に努め、応札者・登録者を増やし、入札情報の周知を拡大していく必要がある。	上記のとおり、法人における改善取り組みはほぼ実施されているが、要求仕様を満たせる業者が他に存在する可能性もあり、今後はメールマガジン登録会社だけでなく、関連業界の団体・加盟企業等を通じて業者情報の収集に努め、応札者・登録者を増やし、入札情報の周知を拡大していく必要がある。	上記のとおり、法人における改善取り組みはほぼ実施されているが、要求仕様を満たせる業者が他に存在する可能性もあり、今後はメールマガジン登録会社だけでなく、関連業界の団体・加盟企業等を通じて業者情報の収集に努め、応札者・登録者を増やし、入札情報の周知を拡大していく必要がある。
(法人における契約監視委員会のコメントに対して講ずる措置)	現在行っている取組を継続するとともに業界団体や企業等へのヒアリングを通じて市場調査などを進め、応札・応募者の増加を検討することとした。	現在行っている取組を継続するとともに業界団体や企業等へのヒアリングを通じて購入から保守に至る調達方法について検討することとした。	現在行っている取組を継続するとともに業界団体や企業等へのヒアリングを通じて購入から保守に至る調達方法について検討することとした。	現在行っている取組を継続するとともに業界団体や企業等へのヒアリングを通じて購入から保守に至る調達方法について検討することとした。	現在行っている取組を継続するとともに業界団体や企業等へのヒアリングを通じて購入から保守に至る調達方法について検討することとした。
本案件を審議した契約監視委員会の委員	契約監視委員会全委員の審議による。	契約監視委員会全委員の審議による。	契約監視委員会全委員の審議による。	契約監視委員会全委員の審議による。	契約監視委員会全委員の審議による。

法人名	独立行政法人海洋研究開発機構	独立行政法人海洋研究開発機構	独立行政法人海洋研究開発機構	独立行政法人海洋研究開発機構	独立行政法人海洋研究開発機構
案件番号	13000183-1 X1	13000228-1 X1	13000273-1 X1	13000229-1 X1	13000233-1 X1
入札及び契約方式	一般競争入札	一般競争入札(技術審査)	一般競争入札	一般競争入札	一般競争入札
契約の件名及び数量	一般廃棄物運搬・再利用業務	横浜研究所 電気・機械設備等運用業務	研究用サーバ等の保守	高知コア研究所 シーケンサ保守(2台)	冷却施設棟 吸収冷凍機保守点検
契約締結日	平成25年4月1日	平成25年4月1日	平成25年4月1日	平成25年4月1日	平成25年4月1日
契約相手方の商号又は名称等	株式会社マルコ	国際ビルサービス株式会社	日本SGI株式会社	藤原化学薬品株式会社	株式会社日立ビルシステム 横浜支社
入札経緯及び結果	入札公告:平成25年1月29日～平成25年2月7日 書類締切:平成25年2月19日 開札日:平成25年3月7日	入札公告:平成25年2月13日～平成25年2月22日 書類締切:平成25年3月5日 開札日:平成25年3月18日	入札公告:平成25年1月21日～平成25年1月30日 書類締切:平成25年2月13日 開札日:平成25年3月19日	入札公告:平成25年1月16日～平成25年1月25日 書類締切:平成25年2月4日 開札日:平成25年3月15日	入札公告:平成25年2月18日～平成25年2月27日 書類締切:平成25年3月8日 開札日:平成25年3月22日

一者応札・応募の改善取組内容	改善項目	状況	具体的な取組の内容									
	①調達予定情報の公表と応札者底辺の拡大	○	調達情報メールマガジンを配信した。	○								
②公告へ仕様書等の添付	○	入札公告、公募公告へ仕様書等を添付した。	○	入札公告、公募公告へ仕様書等を添付した。	○	入札公告、公募公告へ仕様書等を添付した。	○	入札公告、公募公告へ仕様書等を添付した。	○	入札公告、公募公告へ仕様書等を添付した。	○	入札公告、公募公告へ仕様書等を添付した。
③仕様書の見直し等	○	過度な要件を禁止した。	○	過度な要件を禁止した。	○	過度な要件を禁止した。	○	過度な要件を禁止した。	○	過度な要件を禁止した。	○	過度な要件を禁止した。
④書類提出締切までの期間確保	-	総合評価落札方式における提案書作成期間を20日間以上確保した。	-	総合評価落札方式における提案書作成期間を20日間以上確保した。	-	総合評価落札方式における提案書作成期間を20日間以上確保した。	-	総合評価落札方式における提案書作成期間を20日間以上確保した。	-	総合評価落札方式における提案書作成期間を20日間以上確保した。	-	総合評価落札方式における提案書作成期間を20日間以上確保した。
⑤地方拠点所在市役所等への公告の掲示	-	地方拠点案件の公告は、所在する市役所等へ掲示依頼した。	-	地方拠点案件の公告は、所在する市役所等へ掲示依頼した。	-	地方拠点案件の公告は、所在する市役所等へ掲示依頼した。	○	地方拠点案件の公告は、所在する市役所等へ掲示依頼した。	-	地方拠点案件の公告は、所在する市役所等へ掲示依頼した。	-	地方拠点案件の公告は、所在する市役所等へ掲示依頼した。
⑥地方拠点における入札会の参加場所選択方式の採用	-	入札会参加場所を選択出来るようにした。	-	入札会参加場所を選択出来るようにした。	-	入札会参加場所を選択出来るようにした。	○	入札会参加場所を選択出来るようにした。	-	入札会参加場所を選択出来るようにした。	-	入札会参加場所を選択出来るようにした。
⑦入札参加辞退理由による辞退理由の把握	○	辞退理由を把握する事により、今後の参考とすることとした。	○	辞退理由を把握する事により、今後の参考とすることとした。	○	辞退理由を把握する事により、今後の参考とすることとした。	○	辞退理由を把握する事により、今後の参考とすることとした。	○	辞退理由を把握する事により、今後の参考とすることとした。	○	辞退理由を把握する事により、今後の参考とすることとした。

法人における事後点検の結果講ずることとした措置	一者応札・応募等の取り組みは、現在対応可能な方策を全て実施した。	一者応札・応募等の取り組みは、現在対応可能な方策を全て実施した。	一者応札・応募等の取り組みは、現在対応可能な方策を全て実施した。	一者応札・応募等の取り組みは、現在対応可能な方策を全て実施した。	一者応札・応募等の取り組みは、現在対応可能な方策を全て実施した。
-------------------------	----------------------------------	----------------------------------	----------------------------------	----------------------------------	----------------------------------

契約監視委員会のコメント	上記のとおり、法人における改善取り組みは実施されているが、要求仕様を満たせる業者が他に存在する可能性もあり、メールマガジン登録会社だけでなく、市役所等への掲示依頼の他、関連業界の団体・加盟企業等を通じて業者情報の収集に努め、応札者・登録者を増やし、入札情報の周知を拡大していくことが必要である。	上記のとおり、法人における改善取り組みはほぼ実施されているが、調達予定情報の公表についてはメールマガジン登録会社だけでなく、市や区役所等への掲示依頼の他、関連業界の団体・加盟企業等を通じて業者情報の収集に努め、応札者・登録者を増やし、入札情報の周知を拡大していくことが必要である。	上記のとおり、法人における改善取り組みは実施されているが、特殊で専門性の高い業務であることを踏まえ、今後はメールマガジン登録会社だけでなく、関連業界の団体・加盟企業等を通じて業者情報の収集に努め、応札者・登録者を増やし、入札情報の周知を拡大していくことが必要である。	上記のとおり、法人における改善取り組みは実施されているが、特殊で専門性の高い業務であることを踏まえ、今後はメールマガジン登録会社だけでなく、関連業界の団体・加盟企業等を通じて業者情報の収集に努め、応札者・登録者を増やし、入札情報の周知を拡大していくことが必要である。	上記のとおり、法人における改善取り組みは実施されているが、要求仕様を満たせる業者が他に存在する可能性もあり、メールマガジン登録会社だけでなく、拠点市役所等への掲示依頼や業界・組合等へのアプローチを積極的に実施し、応札者・応募者を増やし、入札情報の周知を拡大していくことが必要である。
(法人における契約監視委員会のコメントに対して講ずる措置)	現在行っている取組を継続するとともに、特に入札情報が業者へ伝わるよう、機構以外での情報提供の機会について積極的に検討し、応札・応募者の拡大に取り組むこととした。	現在行っている取組を継続するとともに、特に入札情報が業者へ伝わるよう、機構以外での情報提供の機会について積極的に検討し、応札・応募者の拡大に取り組むこととした。	現在行っている取組を継続するとともに業界団体や企業等へのヒアリングを通じて購入から保守に至る調達方法について検討することとした。	現在行っている取組を継続するとともに業界団体や企業等へのヒアリングを通じて購入から保守に至る調達方法について検討することとした。	現在行っている取組を継続するとともに業界団体や企業等へのヒアリングを通じて購入から保守に至る調達方法について検討することとした。
本案件を審議した契約監視委員会の委員	契約監視委員会全委員の審議による。	契約監視委員会全委員の審議による。	契約監視委員会全委員の審議による。	契約監視委員会全委員の審議による。	契約監視委員会全委員の審議による。

法人名	独立行政法人海洋研究開発機構	独立行政法人海洋研究開発機構	独立行政法人海洋研究開発機構	独立行政法人海洋研究開発機構	独立行政法人海洋研究開発機構
案件番号	13000243-1 X1	13000203-1 X1	13000622-1 X1	13000204-1 X1	13000072-1 X1
入札及び契約方式	一般競争入札	一般競争入札	一般競争入札	一般競争入札	一般競争入札
契約の件名及び数量	コピー機、ファクシミリの保守及び消耗品	Altix450年間保守	化学物質安全管理支援業務及び労働安全衛生管理支援業務	データ処理ソフトProMAX2D等の年間保守	データベース管理ソフトウェアの保守
契約締結日	平成25年4月1日	平成25年4月1日	平成25年4月1日	平成25年4月1日	平成25年4月1日
契約相手方の商号又は名称等	富士ゼロックス株式会社 神奈川営業所	日本SGI株式会社	共立管財株式会社	伊藤忠テクノソリューションズ株式会社 科学システム事業部	新日鉄住金ソリューションズ株式会社 社会公共ソリューション事業部
入札経緯及び結果	入札公告:平成25年2月13日～平成25年2月22日 書類締切:平成25年3月5日 開札日:平成25年3月22日	入札公告:平成25年1月21日～平成25年1月30日 書類締切:平成25年2月12日 開札日:平成25年3月25日	入札公告:平成25年2月22日～平成25年3月4日 書類締切:平成25年3月13日 開札日:平成25年3月27日	入札公告:平成25年1月16日～平成25年1月25日 書類締切:平成25年2月5日 開札日:平成25年2月25日	入札公告:平成25年1月25日～平成25年2月4日 書類締切:平成25年2月13日 開札日:平成25年2月27日

一者応札・応募の改善取組内容	改善項目	状況	具体的な取組の内容									
	①調達予定情報の公表と応札者底辺の拡大	○	調達情報メールマガジンを配信した。	○								
②公告へ仕様書等の添付	○	入札公告、公募公告へ仕様書等を添付した。	○	入札公告、公募公告へ仕様書等を添付した。	○	入札公告、公募公告へ仕様書等を添付した。	○	入札公告、公募公告へ仕様書等を添付した。	○	入札公告、公募公告へ仕様書等を添付した。	○	入札公告、公募公告へ仕様書等を添付した。
③仕様書の見直し等	○	過度な要件を禁止した。	○	過度な要件を禁止した。	○	過度な要件を禁止した。	○	過度な要件を禁止した。	○	過度な要件を禁止した。	○	過度な要件を禁止した。
④書類提出締切までの期間確保	-	総合評価落札方式における提案書作成期間を20日以上確保した。	-	総合評価落札方式における提案書作成期間を20日以上確保した。	-	総合評価落札方式における提案書作成期間を20日以上確保した。	-	総合評価落札方式における提案書作成期間を20日以上確保した。	-	総合評価落札方式における提案書作成期間を20日以上確保した。	-	総合評価落札方式における提案書作成期間を20日以上確保した。
⑤地方拠点所在市役所等への公告の掲示	-	地方拠点案件の公告は、所在する市役所等へ掲示依頼した。	-	地方拠点案件の公告は、所在する市役所等へ掲示依頼した。	-	地方拠点案件の公告は、所在する市役所等へ掲示依頼した。	-	地方拠点案件の公告は、所在する市役所等へ掲示依頼した。	-	地方拠点案件の公告は、所在する市役所等へ掲示依頼した。	-	地方拠点案件の公告は、所在する市役所等へ掲示依頼した。
⑥地方拠点における入札会の参加場所選択方式の採用	-	入札会参加場所を選択出来るようにした。	-	入札会参加場所を選択出来るようにした。	-	入札会参加場所を選択出来るようにした。	-	入札会参加場所を選択出来るようにした。	-	入札会参加場所を選択出来るようにした。	-	入札会参加場所を選択出来るようにした。
⑦入札参加辞退理由による辞退理由の把握	○	辞退理由を把握する事により、今後の参考とすることとした。	○	辞退理由を把握する事により、今後の参考とすることとした。	○	辞退理由を把握する事により、今後の参考とすることとした。	○	辞退理由を把握する事により、今後の参考とすることとした。	○	辞退理由を把握する事により、今後の参考とすることとした。	○	辞退理由を把握する事により、今後の参考とすることとした。

法人における事後点検の結果講ずることとした措置	一者応札・応募等の取り組みは、現在対応可能な方策を全て実施した。	一者応札・応募等の取り組みは、現在対応可能な方策を全て実施した。	一者応札・応募等の取り組みは、現在対応可能な方策を全て実施した。	一者応札・応募等の取り組みは、現在対応可能な方策を全て実施した。	一者応札・応募等の取り組みは、現在対応可能な方策を全て実施した。
-------------------------	----------------------------------	----------------------------------	----------------------------------	----------------------------------	----------------------------------

契約監視委員会のコメント	上記のとおり、法人における改善取り組みはほぼ実施されているが、要求仕様を満たせる業者が他に存在する可能性もあり、調達予定情報の公表についてはメールマガジン登録会社だけでなく、拠点市役所等への掲示依頼や業界・組合等へのアプローチを積極的に実施し、応札者・応募者を増やし、入札情報の周知を拡大していく必要がある。	上記のとおり、法人における改善取り組みは実施されているが、特殊で専門性の高い業務であることを踏まえ、今後はメールマガジン登録会社だけでなく、関連業界の団体・加盟企業等を通じて業者情報の収集に努め、応札者・登録者を増やし、入札情報の周知を拡大していく必要がある。	上記のとおり、法人における改善取り組みはほぼ実施されているが、調達予定情報の公表についてはメールマガジン登録会社だけでなく、関連業界の団体・加盟企業等を通じて業者情報の収集に努め、応札者・登録者を増やし、入札情報の周知を拡大していく必要がある。	上記のとおり、法人における改善取り組みは実施されているが、特殊で専門性の高い業務であることを踏まえ、今後は関連業界の団体・加盟企業等を通じて業者情報の収集に努め、応札業者の拡大が必要である。	上記のとおり、法人における改善取り組みは実施されているが、特殊で専門性の高い業務であることを踏まえ、今後は関連業界の団体・加盟企業等を通じて業者情報の収集に努め、応札業者の拡大が必要である。
(法人における契約監視委員会のコメント)に対して講ずる措置	現在行っている取組を継続するとともに業界団体や企業等へのヒアリングを通じて購入から保守に至る調達方法について検討することとした。	現在行っている取組を継続するとともに業界団体や企業等へのヒアリングを通じて購入から保守に至る調達方法について検討することとした。	現在行っている取組を継続するとともに、業界団体や企業等へのヒアリングを通じて特定の業者に頼らないよう仕様内容から調達方法について検討することとした。	現在行っている取組を継続するとともに業界団体や企業等へのヒアリングを通じて購入から保守に至る調達方法について検討することとした。	現在行っている取組を継続するとともに業界団体や企業等へのヒアリングを通じて購入から保守に至る調達方法について検討することとした。
本案件を審議した契約監視委員会の委員	契約監視委員会全委員の審議による。	契約監視委員会全委員の審議による。	契約監視委員会全委員の審議による。	契約監視委員会全委員の審議による。	契約監視委員会全委員の審議による。

法人名	独立行政法人海洋研究開発機構	独立行政法人海洋研究開発機構	独立行政法人海洋研究開発機構	独立行政法人海洋研究開発機構	独立行政法人海洋研究開発機構
案件番号	13000327-1 X1	13000104-1 X1	13000531-1 X1	13000128-1 X1	13000165-1 X1
入札及び契約方式	一般競争入札	一般競争入札	一般競争入札	一般競争入札(技術審査)	一般競争入札
契約の件名及び数量	実験用液体窒素の購入	むつ研究所で使用する電気の供給	新聞記事クリッピング業務	従業員支援プログラム(EAP)	実験排水中和処理設備保守管理
契約締結日	平成25年4月1日	平成25年4月1日	平成25年4月1日	平成25年4月1日	平成25年4月1日
契約相手方の商号又は名称等	株式会社巴商会 六ヶ所出張所	東北電力株式会社 むつ営業所	株式会社エレクトロニック・ライブラリー	株式会社アドバンテッジリスクマネジメント	株式会社フジクリーン青森
入札経緯及び結果	入札公告:平成25年2月1日～平成25年2月12日 書類締切:平成25年2月20日 開札日:平成25年3月15日	入札公告:平成25年2月1日～平成25年2月12日 書類締切:平成25年2月20日 開札日:平成25年3月8日	入札公告:平成25年2月20日～平成25年3月1日 書類締切:平成25年3月8日 開札日:平成25年3月22日	入札公告:平成25年1月25日～平成25年2月4日 書類締切:平成25年2月18日 開札日:平成25年3月5日	入札公告:平成25年1月25日～平成25年2月4日 書類締切:平成25年2月19日 開札日:平成25年3月15日

一者応札・応募の改善取組内容	改善項目	状況	具体的な取組の内容								
	①調達予定情報の公表と応札者底辺の拡大	○	調達情報メールマガジンを配信した。								
②公告へ仕様書等の添付	○	入札公告、公募公告へ仕様書等を添付した。	○	入札公告、公募公告へ仕様書等を添付した。	○	入札公告、公募公告へ仕様書等を添付した。	○	入札公告、公募公告へ仕様書等を添付した。	○	入札公告、公募公告へ仕様書等を添付した。	
③仕様書の見直し等	○	過度な要件を禁止した。	○	過度な要件を禁止した。	○	過度な要件を禁止した。	○	過度な要件を禁止した。	○	過度な要件を禁止した。	
④書類提出締切までの期間確保	-	総合評価落札方式における提案書作成期間を20日以上確保した。	-	総合評価落札方式における提案書作成期間を20日以上確保した。	-	総合評価落札方式における提案書作成期間を20日以上確保した。	-	総合評価落札方式における提案書作成期間を20日以上確保した。	-	総合評価落札方式における提案書作成期間を20日以上確保した。	
⑤地方拠点所在市役所等への公告の掲示	○	地方拠点案件の公告は、所在する市役所等へ掲示依頼した。	○	地方拠点案件の公告は、所在する市役所等へ掲示依頼した。	-	地方拠点案件の公告は、所在する市役所等へ掲示依頼した。	-	地方拠点案件の公告は、所在する市役所等へ掲示依頼した。	○	地方拠点案件の公告は、所在する市役所等へ掲示依頼した。	
⑥地方拠点における入札会の参加場所選択方式の採用	-	入札会参加場所を選択出来るようにした。	-	入札会参加場所を選択出来るようにした。	-	入札会参加場所を選択出来るようにした。	-	入札会参加場所を選択出来るようにした。	-	入札会参加場所を選択出来るようにした。	
⑦入札参加辞退届による辞退理由の把握	○	辞退理由を把握する事により、今後の参考とすることとした。	○	辞退理由を把握する事により、今後の参考とすることとした。	○	辞退理由を把握する事により、今後の参考とすることとした。	○	辞退理由を把握する事により、今後の参考とすることとした。	○	辞退理由を把握する事により、今後の参考とすることとした。	

法人における事後点検の結果講ずることとした措置	一者応札・応募等の取り組みは、現在対応可能な方策を全て実施した。	一者応札・応募等の取り組みは、現在対応可能な方策を全て実施した。	一者応札・応募等の取り組みは、現在対応可能な方策を全て実施した。	一者応札・応募等の取り組みは、現在対応可能な方策を全て実施した。	一者応札・応募等の取り組みは、現在対応可能な方策を全て実施した。
-------------------------	----------------------------------	----------------------------------	----------------------------------	----------------------------------	----------------------------------

契約監視委員会のコメント	上記のとおり、法人における改善取り組みはほぼ実施されているが、要求仕様を満たせる業者が他に存在する可能性もあり、メールマガジン登録会社だけでなく、関連業界・組合等へのアプローチを積極的に実施し、応札者・応募者を増やし、入札情報の周知を拡大していく必要がある。	上記のとおり、法人における改善取り組みは実施されているが、要求仕様を満たせる業者が他に存在する可能性もあり、メールマガジン登録会社だけでなく、地域拡大を踏まえ積極的に実施し、応札者・応募者の拡大が必要である。関連業界・組合等へのアプローチを積極的に実施し、応札者・応募者を増やし、入札情報の周知を拡大していく必要がある。	上記のとおり、改善取り組みはほぼ実施されているが、要求仕様を満たせる業者が他に存在する可能性もあり、メールマガジン登録会社だけでなく、関連業界等へのアプローチを積極的に実施し、応札者・応募者を増やすメールマガジン読者の拡大が必要である。また、他の独法からの情報収集等により関連業者の拡大が必要である。	上記のとおり、改善取り組みはほぼ実施されているが、要求仕様を満たせる業者が他に存在する可能性もあり、更に調達予定情報の公表についてはメールマガジン登録会社だけでなく、業界・組合等へのアプローチを積極的に実施し、応札者・応募者を増やすメールマガジン読者の拡大が必要である。	上記のとおり、法人における改善取り組みはほぼ実施されているが、要求仕様を満たせる業者が他に存在する可能性もあり、入札情報の周知を拡大していく必要がある。特にメールマガジン登録会社の拡大については、関連業界等に対して積極的なアプローチが必要である。
(法人における契約監視委員会のコメントに対して講ずる措置)	現在行っている取組を継続するとともに、特に入札情報が業者へ伝わるよう、機構以外での情報提供の機会について積極的に検討し、応札・応募者の拡大に取り組むこととした。	現在行っている取組を継続するとともに業界団体や企業等へのヒアリングを通じて市場調査などを進め、応札・応募者の増加策を検討することとした。	現在行っている取組を継続するとともに業界団体や企業等へのヒアリングを通じて市場調査などを進め、応札・応募者の増加策を検討することとした。	現在行っている取組を継続するとともに業界団体や企業等へのヒアリングを通じて市場調査などを進め、応札・応募者の増加策を検討することとした。	現在行っている取組を継続するとともに、特に入札情報が業者へ伝わるよう、機構以外での情報提供の機会について積極的に検討し、応札・応募者の拡大に取り組むこととした。
本案件を審議した契約監視委員会の委員	契約監視委員会全委員の審議による。	契約監視委員会全委員の審議による。	契約監視委員会全委員の審議による。	契約監視委員会全委員の審議による。	契約監視委員会全委員の審議による。

法人名	独立行政法人海洋研究開発機構	独立行政法人海洋研究開発機構	独立行政法人海洋研究開発機構	独立行政法人海洋研究開発機構	独立行政法人海洋研究開発機構
案件番号	13000075-1 X1	13000502-1 X1	13000086-1 X1	13000122-1 X1	13000208-1 X1
入札及び契約方式	一般競争入札	一般競争入札	一般競争入札	一般競争入札	一般競争入札(技術審査)
契約の件名及び数量	リンクナビゲーションシステム SFX ASP の利用	シミュレーションデータ保存用RAIDストレージの保守	汎用可視化ソフトウェアの保守	大規模シミュレーションデータ用汎用可視化システム保守	大阪市内近傍における常設展示物の維持・管理・運営業務
契約締結日	平成25年4月1日	平成25年4月1日	平成25年4月1日	平成25年4月1日	平成25年4月1日
契約相手方の商号又は名称等	ユサコ株式会社	株式会社ニューテック	サイバネットシステム株式会社	日本SGI株式会社	一般財団法人大阪科学技術センター
入札経緯及び結果	入札公告:平成25年2月5日～平成25年2月14日 書類締切:平成25年2月22日 開札日:平成25年3月6日	入札公告:平成25年2月19日～平成25年2月28日 書類締切:平成25年3月8日 開札日:平成25年3月21日	入札公告:平成25年2月13日～平成25年2月22日 書類締切:平成25年3月6日 開札日:平成25年3月15日	入札公告:平成25年2月4日～平成25年2月13日 書類締切:平成25年2月20日 開札日:平成25年3月1日	入札公告:平成25年1月31日～平成25年2月12日 書類締切:平成25年2月25日 開札日:平成25年3月12日

一者応札・応募の改善取組内容	改善項目	状況	具体的な取組の内容									
	①調達予定情報の公表と応札者底辺の拡大	○	調達情報メールマガジンを配信した。	○								
②公告へ仕様書等の添付	○	入札公告、公募公告へ仕様書等を添付した。	○	入札公告、公募公告へ仕様書等を添付した。	○	入札公告、公募公告へ仕様書等を添付した。	○	入札公告、公募公告へ仕様書等を添付した。	○	入札公告、公募公告へ仕様書等を添付した。	○	入札公告、公募公告へ仕様書等を添付した。
③仕様書の見直し等	○	過度な要件を禁止した。	○	過度な要件を禁止した。	○	過度な要件を禁止した。	○	過度な要件を禁止した。	○	過度な要件を禁止した。	○	過度な要件を禁止した。
④書類提出締切までの期間確保	-	総合評価落札方式における提案書作成期間を20日間以上確保した。	-	総合評価落札方式における提案書作成期間を20日間以上確保した。	-	総合評価落札方式における提案書作成期間を20日間以上確保した。	-	総合評価落札方式における提案書作成期間を20日間以上確保した。	-	総合評価落札方式における提案書作成期間を20日間以上確保した。	-	総合評価落札方式における提案書作成期間を20日間以上確保した。
⑤地方拠点所在市役所等への公告の掲示	-	地方拠点案件の公告は、所在する市役所等へ掲示依頼した。	-	地方拠点案件の公告は、所在する市役所等へ掲示依頼した。	-	地方拠点案件の公告は、所在する市役所等へ掲示依頼した。	-	地方拠点案件の公告は、所在する市役所等へ掲示依頼した。	-	地方拠点案件の公告は、所在する市役所等へ掲示依頼した。	-	地方拠点案件の公告は、所在する市役所等へ掲示依頼した。
⑥地方拠点における入札会の参加場所選択方式の採用	-	入札会参加場所を選択出来るようにした。	-	入札会参加場所を選択出来るようにした。	-	入札会参加場所を選択出来るようにした。	-	入札会参加場所を選択出来るようにした。	-	入札会参加場所を選択出来るようにした。	-	入札会参加場所を選択出来るようにした。
⑦入札参加辞退理由による辞退理由の把握	○	辞退理由を把握する事により、今後の参考とすることとした。	○	辞退理由を把握する事により、今後の参考とすることとした。	○	辞退理由を把握する事により、今後の参考とすることとした。	○	辞退理由を把握する事により、今後の参考とすることとした。	○	辞退理由を把握する事により、今後の参考とすることとした。	○	辞退理由を把握する事により、今後の参考とすることとした。

法人における事後点検の結果講ずることとした措置	一者応札・応募等の取り組みは、現在対応可能な方策を全て実施した。	一者応札・応募等の取り組みは、現在対応可能な方策を全て実施した。	一者応札・応募等の取り組みは、現在対応可能な方策を全て実施した。	一者応札・応募等の取り組みは、現在対応可能な方策を全て実施した。	一者応札・応募等の取り組みは、現在対応可能な方策を全て実施した。
-------------------------	----------------------------------	----------------------------------	----------------------------------	----------------------------------	----------------------------------

契約監視委員会のコメント	上記のとおり、法人における改善取り組みはほぼ実施されているが、要求仕様を満たせる業者が他に存在する可能性もあり、入札情報の周知を拡大していくことが必要である。特にメールマガジン登録会社の拡大については、関連業界等に対して積極的なアプローチが必要である。	上記のとおり、法人における改善取り組みは実施されているが、特殊で専門性の高い業務であることを踏まえ、今後は関連業界の団体・加盟企業等を通じて業者情報の収集に努め、応札業者の拡大に積極的に取り組んでいただきたい。	上記のとおり、法人における改善取り組みは実施されているが、特殊で専門性の高い業務であることを踏まえ、今後は関連業界の団体・加盟企業等を通じて業者情報の収集に努め、応札業者の拡大に積極的に取り組んでいただきたい。	上記のとおり、法人における改善取り組みは実施されているが、特殊で専門性の高い業務であることを踏まえ、今後は関連業界の団体・加盟企業等を通じて業者情報の収集に努め、応札業者の拡大に積極的に取り組んでいただきたい。	上記のとおり、改善取り組みはほぼ実施されているが、大阪市内近傍での業務で有る事を踏まえ、事業拠点近傍の市役所等への掲示依頼が必要と考える。
(法人における契約監視委員会のコメント)に対して講ずる措置	現在行っている取組を継続するとともに業界団体や企業等へのヒアリングを通じて市場調査などを進め、応札・応募者の増加を検討することとした。	現在行っている取組を継続するとともに業界団体や企業等へのヒアリングを通じて購入から保守に至る調達方法について検討することとした。	現在行っている取組を継続するとともに業界団体や企業等へのヒアリングを通じて購入から保守に至る調達方法について検討することとした。	現在行っている取組を継続するとともに業界団体や企業等へのヒアリングを通じて購入から保守に至る調達方法について検討することとした。	現在行っている取組を継続するとともに、特に入札情報が業者へ伝わるよう、機構以外での情報提供の機会について積極的に検討し、応札・応募者の拡大に取り組むこととした。
本案件を審議した契約監視委員会の委員	契約監視委員会全委員の審議による。	契約監視委員会全委員の審議による。	契約監視委員会全委員の審議による。	契約監視委員会全委員の審議による。	契約監視委員会全委員の審議による。

法人名	独立行政法人海洋研究開発機構	独立行政法人海洋研究開発機構	独立行政法人海洋研究開発機構	独立行政法人海洋研究開発機構	独立行政法人海洋研究開発機構
案件番号	13000046-1 X1	13000219-1 X1	13000246-1 X1	13000170-1 X1	13000076-1 X1
入札及び契約方式	一般競争入札	一般競争入札	一般競争入札	一般競争入札(技術審査)	一般競争入札
契約の件名及び数量	グループウェアシステム保守	リアルタイム処理・解析装置の年間保守	海底地震総合観測システム陸上局総合管理運用支援業務	GODACデータ公開システム基盤保守	カラー・モノクロ複合機の保守
契約締結日	平成25年4月1日	平成25年4月1日	平成25年3月12日	平成25年4月1日	平成25年4月1日
契約相手方の商号又は名称等	日商エレクトロニクス株式会社	日本SGI株式会社	太平ビルサービス株式会社	株式会社ユー・エス・イー	富士ゼロックス株式会社 神奈川営業所
入札経緯及び結果	入札公告:平成25年2月15日～平成25年2月25日	入札公告:平成25年1月28日～平成25年2月6日	入札公告:平成25年1月28日～平成25年2月6日	入札公告:平成25年2月1日～平成25年2月12日	入札公告:平成25年1月25日～平成25年2月4日
	書類締切:平成25年3月6日	書類締切:平成25年2月20日	書類締切:平成25年2月22日	書類締切:平成25年2月25日	書類締切:平成25年2月19日
	開札日:平成25年3月18日	開札日:平成25年2月28日	開札日:平成25年3月12日	開札日:平成25年3月14日	開札日:平成25年3月15日

一者応札・応募の改善取組内容	改善項目	状況	具体的な取組の内容	状況	具体的な取組の内容	状況	具体的な取組の内容	状況	具体的な取組の内容
	①調達予定情報の公表と応札者底辺の拡大	○	調達情報メールマガジンを配信した。	○	調達情報メールマガジンを配信した。	○	調達情報メールマガジンを配信した。	○	調達情報メールマガジンを配信した。
	②公告へ仕様書等の添付	○	入札公告、公募公告へ仕様書等を添付した。	○	入札公告、公募公告へ仕様書等を添付した。	○	入札公告、公募公告へ仕様書等を添付した。	○	入札公告、公募公告へ仕様書等を添付した。
	③仕様書の見直し等	○	過度な要件を禁止した。	○	過度な要件を禁止した。	○	過度な要件を禁止した。	○	過度な要件を禁止した。
	④書類提出締切までの期間確保	-	総合評価落札方式における提案書作成期間を20日間以上確保した。	-	総合評価落札方式における提案書作成期間を20日間以上確保した。	-	総合評価落札方式における提案書作成期間を20日間以上確保した。	-	総合評価落札方式における提案書作成期間を20日間以上確保した。
	⑤地方拠点所在市役所等への公告の掲示	-	地方拠点案件の公告は、所在する市役所等へ掲示依頼した。	-	地方拠点案件の公告は、所在する市役所等へ掲示依頼した。	○	地方拠点案件の公告は、所在する市役所等へ掲示依頼した。	○	地方拠点案件の公告は、所在する市役所等へ掲示依頼した。
	⑥地方拠点における入札会の参加場所選択方式の採用	-	入札会参加場所を選択出来るようにした。	-	入札会参加場所を選択出来るようにした。	○	入札会参加場所を選択出来るようにした。	-	入札会参加場所を選択出来るようにした。
	⑦入札参加辞退理由による辞退理由の把握	○	辞退理由を把握する事により、今後の参考とすることとした。	○	辞退理由を把握する事により、今後の参考とすることとした。	○	辞退理由を把握する事により、今後の参考とすることとした。	○	辞退理由を把握する事により、今後の参考とすることとした。

法人における事後点検の結果講ずることとした措置	一者応札・応募等の取り組みは、現在対応可能な方策を全て実施した。	一者応札・応募等の取り組みは、現在対応可能な方策を全て実施した。	一者応札・応募等の取り組みは、現在対応可能な方策を全て実施した。	一者応札・応募等の取り組みは、現在対応可能な方策を全て実施した。	一者応札・応募等の取り組みは、現在対応可能な方策を全て実施した。
-------------------------	----------------------------------	----------------------------------	----------------------------------	----------------------------------	----------------------------------

契約監視委員会のコメント	上記のとおり、法人における改善取り組みは実施されているが、特殊で専門性の高い業務であることを踏まえ、今後は関連業界の団体・加盟企業等を通じて業者情報の収集に努め、応札業者の拡大に積極的に取り組んでいただきたい。	上記のとおり、法人における改善取り組みは実施されているが、特殊で専門性の高い業務であることを踏まえ、今後は関連業界の団体・加盟企業等を通じて業者情報の収集に努め、応札業者の拡大に積極的に取り組んでいただきたい。	上記のとおり、改善取り組みはほぼ実施されているが、特殊で専門性の高い業務であることを踏まえ、今後は関連業界の団体・加盟企業等を通じて業者情報の収集に努め、応札業者の拡大に積極的に取り組んでいただきたい。	上記のとおり、法人における改善取り組みはほぼ実施されているが、特殊で専門性の高い業務であることを踏まえ、今後は関連業界の団体・加盟企業等を通じて業者情報の収集に努め、応札業者の拡大に積極的に取り組んでいただきたい。	上記のとおり、法人における改善取り組みはほぼ実施されているが、要求仕様を満たせる業者が他に存在する可能性もあり、入札情報の周知を拡大していく必要がある。特にメールマガジン登録会社の拡大については、関連業界等に対して積極的なアプローチが必要である。
(法人における契約監視委員会のコメント)に対して講ずる措置	現在行っている取組を継続するとともに業界団体や企業等へのヒアリングを通じて購入から保守に至る調達方法について検討することとした。	現在行っている取組を継続するとともに業界団体や企業等へのヒアリングを通じて購入から保守に至る調達方法について検討することとした。	現在行っている取組を継続するとともに、業界団体や企業等へのヒアリングを通じて特定の業者に頼らないよう仕様内容から調達方法について検討することとした。	現在行っている取組を継続するとともに業界団体や企業等へのヒアリングを通じて購入から保守に至る調達方法について検討することとした。	現在行っている取組を継続するとともに業界団体や企業等へのヒアリングを通じて購入から保守に至る調達方法について検討することとした。
本案件を審議した契約監視委員会の委員	契約監視委員会全委員の審議による。	契約監視委員会全委員の審議による。	契約監視委員会全委員の審議による。	契約監視委員会全委員の審議による。	契約監視委員会全委員の審議による。

法人名	独立行政法人海洋研究開発機構	独立行政法人海洋研究開発機構	独立行政法人海洋研究開発機構	独立行政法人海洋研究開発機構	独立行政法人海洋研究開発機構
案件番号	13000207-1 X1	13000247-1 X1	13000164-1 X1	13000107-1 X1	13000181-1 X1
入札及び契約方式	一般競争入札	一般競争入札	一般競争入札(技術審査)	一般競争入札	一般競争入札(技術審査)
契約の件名及び数量	オンデマンド印刷システムの年間保守	地球内部構造計算評価最適化用計算機(PRIMERGY CX1000)の運用支援業務	カスタムDNA合成	平成25年度昇降機保守点検業務	HPCI戦略分野3対象プログラムの移植・最適化と開発者支援
契約締結日	平成25年4月1日	平成25年4月1日	平成25年4月1日	平成25年4月1日	平成25年4月4日
契約相手方の商号又は名称等	富士ゼロックス株式会社 神奈川営業所	富士通株式会社 TO統括営業部先端科学営業部	理科研株式会社 鶴見営業所	株式会社日立ビルシステム 横浜支社	日本電気株式会社 官公営業本部
入札経緯及び結果	入札公告:平成25年2月12日～平成25年2月21日 書類締切:平成25年3月4日 開札日:平成25年3月15日	入札公告:平成25年1月28日～平成25年2月6日 書類締切:平成25年2月25日 開札日:平成25年3月12日	入札公告:平成25年1月28日～平成25年2月6日 書類締切:平成25年2月25日 開札日:平成25年3月12日	入札公告:平成25年1月28日～平成25年2月6日 書類締切:平成25年2月19日 開札日:平成25年3月7日	入札公告:平成25年3月4日～平成25年3月13日 書類締切:平成25年3月25日 開札日:平成25年4月4日

一者応札・応募の改善取組内容	改善項目	状況	具体的な取組の内容								
	①調達予定情報の公表と応札者底辺の拡大	○	調達情報メールマガジンを配信した。								
②公告へ仕様書等の添付	○	入札公告、公募公告へ仕様書等を添付した。	○	入札公告、公募公告へ仕様書等を添付した。	○	入札公告、公募公告へ仕様書等を添付した。	○	入札公告、公募公告へ仕様書等を添付した。	○	入札公告、公募公告へ仕様書等を添付した。	
③仕様書の見直し等	○	過度な要件を禁止した。	○	過度な要件を禁止した。	○	過度な要件を禁止した。	○	過度な要件を禁止した。	○	過度な要件を禁止した。	
④書類提出締切までの期間確保	-	総合評価落札方式における提案書作成期間を20日以上確保した。	-	総合評価落札方式における提案書作成期間を20日以上確保した。	-	総合評価落札方式における提案書作成期間を20日以上確保した。	-	総合評価落札方式における提案書作成期間を20日以上確保した。	-	総合評価落札方式における提案書作成期間を20日以上確保した。	
⑤地方拠点所在市役所等への公告の掲示	-	地方拠点案件の公告は、所在する市役所等へ掲示依頼した。	-	地方拠点案件の公告は、所在する市役所等へ掲示依頼した。	-	地方拠点案件の公告は、所在する市役所等へ掲示依頼した。	-	地方拠点案件の公告は、所在する市役所等へ掲示依頼した。	-	地方拠点案件の公告は、所在する市役所等へ掲示依頼した。	
⑥地方拠点における入札会の参加場所選択方式の採用	-	入札会参加場所を選択出来るようにした。	-	入札会参加場所を選択出来るようにした。	-	入札会参加場所を選択出来るようにした。	-	入札会参加場所を選択出来るようにした。	-	入札会参加場所を選択出来るようにした。	
⑦入札参加辞退届による辞退理由の把握	○	辞退理由を把握する事により、今後の参考とすることとした。	○	辞退理由を把握する事により、今後の参考とすることとした。	○	辞退理由を把握する事により、今後の参考とすることとした。	○	辞退理由を把握する事により、今後の参考とすることとした。	○	辞退理由を把握する事により、今後の参考とすることとした。	

法人における事後点検の結果講ずることとした措置	一者応札・応募等の取り組みは、現在対応可能な方策を全て実施した。	一者応札・応募等の取り組みは、現在対応可能な方策を全て実施した。	一者応札・応募等の取り組みは、現在対応可能な方策を全て実施した。	一者応札・応募等の取り組みは、現在対応可能な方策を全て実施した。	一者応札・応募等の取り組みは、現在対応可能な方策を全て実施した。
-------------------------	----------------------------------	----------------------------------	----------------------------------	----------------------------------	----------------------------------

契約監視委員会のコメント	上記のとおり、法人における改善取り組みはほぼ実施されているが、要求仕様を満たせる業者が他に存在する可能性もあり、入札情報の周知を拡大していく必要がある。特にメールマガジン登録会社の拡大については、関連業界等に対して積極的なアプローチが必要である。	上記のとおり、法人における改善取り組みはほぼ実施されているが、特殊で専門性の高い業務であることを踏まえ、今後は関連業界の団体・加盟企業等を通じて業者情報の収集に努め、応札業者の拡大に積極的に取り組んでいただきたい。	上記のとおり、法人における改善取り組みはほぼ実施されているが、特殊で専門性の高い業務であることを踏まえ、今後は関連業界の団体・加盟企業等を通じて業者情報の収集に努め、応札業者の拡大に積極的に取り組んでいただきたい。	上記のとおり、法人における改善取り組みはほぼ実施されているが、要求仕様を満たせる業者が他に存在する可能性もあり、入札情報の周知を拡大していく必要がある。特にメールマガジン登録会社の拡大については、関連業界等に対して積極的なアプローチが必要である。	上記のとおり、法人における改善取り組みはほぼ実施されているが、特殊で専門性の高い業務であることを踏まえ、今後は関連業界の団体・加盟企業等を通じて業者情報の収集に努め、応札業者の拡大に積極的に取り組んでいただきたい。また、件名についても配慮する必要がある。
(法人における契約監視委員会のコメントに対して講ずる措置)	現在行っている取組を継続するとともに業界団体や企業等へのヒアリングを通じて購入から保守に至る調達方法について検討することとした。	現在行っている取組を継続するとともに、業界団体や企業等へのヒアリングを通じて特定の業者に頼らないよう仕様内容から調達方法について検討することとした。	現在行っている取組を継続するとともに業界団体や企業等へのヒアリングを通じて市場調査などを進め、応札・応募者の増加策を検討することとした。	現在行っている取組を継続するとともに、特に入札情報が業者へ伝わるよう、機密以外での情報提供の機会について積極的に検討し、応札・応募者の拡大に取り組むこととした。	現在行っている取組を継続するとともに、業界団体や企業等へのヒアリングを通じて特定の業者に頼らないよう仕様内容から調達方法について検討することとした。
本案件を審議した契約監視委員会の委員	契約監視委員会全委員の審議による。	契約監視委員会全委員の審議による。	契約監視委員会全委員の審議による。	契約監視委員会全委員の審議による。	契約監視委員会全委員の審議による。

法人名	独立行政法人海洋研究開発機構	独立行政法人海洋研究開発機構	独立行政法人海洋研究開発機構	独立行政法人海洋研究開発機構	独立行政法人海洋研究開発機構
案件番号	13000682-1 X1	13002790-1 X1	13002916-1 X1	13000236-1 X1	13000009-1 X1
入札及び契約方式	一般競争入札(技術審査)	一般競争入札(総合評価落札方式)	一般競争入札	不落随意契約	不落随意契約
契約の件名及び数量	HPCI戦略分野3対象プログラムの高速化と開発者支援	リスクマネジメント推進支援業務	CTDセンサーの校正	冷却水用複合処理剤	単結晶ダイヤモンドアンピルの購入
契約締結日	平成25年4月12日	平成25年5月24日	平成25年6月26日	平成25年4月1日	平成25年4月1日
契約相手方の商号又は名称等	富士通株式会社 TC統括営業部先端科学営業部	新日本有限責任監査法人	株式会社イーエムエス	アクス株式会社	株式会社シンテック
入札経緯及び結果	入札公告:平成25年3月12日～平成25年3月21日 書類締切:平成25年4月2日 開札日:平成25年4月12日	入札公告:平成25年4月5日～平成25年4月15日 書類締切:平成25年5月10日 開札日:平成25年5月24日	入札公告:平成25年5月31日～平成25年6月10日 書類締切:平成25年6月18日 開札日:平成25年6月26日	入札公告:平成25年2月13日～平成25年2月22日 書類締切:平成25年3月4日 開札日:平成25年3月13日	入札公告:平成25年2月12日～平成25年2月21日 書類締切:平成25年3月1日 開札日:平成25年3月19日

一者応札・応募の改善取組内容	改善項目	状況	具体的な取組の内容									
	①調達予定情報の公表と応札者底辺の拡大	○	調達情報メールマガジンを配信した。	○								
②公告へ仕様書等の添付	○	入札公告、公募公告へ仕様書等を添付した。	○	入札公告、公募公告へ仕様書等を添付した。	○	入札公告、公募公告へ仕様書等を添付した。	○	入札公告、公募公告へ仕様書等を添付した。	○	入札公告、公募公告へ仕様書等を添付した。	○	入札公告、公募公告へ仕様書等を添付した。
③仕様書の見直し等	○	過度な要件を禁止した。	○	過度な要件を禁止した。	○	過度な要件を禁止した。	○	過度な要件を禁止した。	○	過度な要件を禁止した。	○	過度な要件を禁止した。
④書類提出締切までの期間確保	—	総合評価落札方式における提案書作成期間を20日間以上確保した。	—	総合評価落札方式における提案書作成期間を20日間以上確保した。	—	総合評価落札方式における提案書作成期間を20日間以上確保した。	—	総合評価落札方式における提案書作成期間を20日間以上確保した。	—	総合評価落札方式における提案書作成期間を20日間以上確保した。	—	総合評価落札方式における提案書作成期間を20日間以上確保した。
⑤地方拠点所在市役所等への公告の掲示	—	地方拠点案件の公告は、所在する市役所等へ掲示依頼した。	—	地方拠点案件の公告は、所在する市役所等へ掲示依頼した。	—	地方拠点案件の公告は、所在する市役所等へ掲示依頼した。	—	地方拠点案件の公告は、所在する市役所等へ掲示依頼した。	—	地方拠点案件の公告は、所在する市役所等へ掲示依頼した。	—	地方拠点案件の公告は、所在する市役所等へ掲示依頼した。
⑥地方拠点における入札会の参加場所選択方式の採用	—	入札会参加場所を選択出来るようにした。	—	入札会参加場所を選択出来るようにした。	—	入札会参加場所を選択出来るようにした。	—	入札会参加場所を選択出来るようにした。	—	入札会参加場所を選択出来るようにした。	—	入札会参加場所を選択出来るようにした。
⑦入札参加辞退理由による辞退理由の把握	○	辞退理由を把握する事により、今後の参考とすることとした。	○	辞退理由を把握する事により、今後の参考とすることとした。	○	辞退理由を把握する事により、今後の参考とすることとした。	○	辞退理由を把握する事により、今後の参考とすることとした。	○	辞退理由を把握する事により、今後の参考とすることとした。	○	辞退理由を把握する事により、今後の参考とすることとした。

法人における事後点検の結果講ずることとした措置	一者応札・応募等の取り組みは、現在対応可能な方策を全て実施した。	一者応札・応募等の取り組みは、現在対応可能な方策を全て実施した。	一者応札・応募等の取り組みは、現在対応可能な方策を全て実施した。	一者応札・応募等の取り組みは、現在対応可能な方策を全て実施した。	一者応札・応募等の取り組みは、現在対応可能な方策を全て実施した。
-------------------------	----------------------------------	----------------------------------	----------------------------------	----------------------------------	----------------------------------

契約監視委員会のコメント	上記のとおり、法人における改善取り組みはほぼ実施されているが、特殊で専門性の高い業務であることを踏まえ、今後は関連業界の団体・加盟企業等を通じて業者情報の収集に努め、応札業者の拡大に積極的に取り組んでいただきたい。また、件名についても配慮する必要がある。	上記のとおり、法人における改善取り組みはほぼ実施されているが、要求仕様を満たせる業者が他に存在する可能性もあり、今後は関連業界の団体・加盟企業等を通じて業者情報の収集に努め、入札情報の周知を拡大していくことが必要である。	上記のとおり、法人における改善取り組みはほぼ実施されているが、要求仕様を満たせる業者が他に存在する可能性もあり、今後は関連業界の団体・加盟企業等を通じて業者情報の収集に努め、入札情報の周知を拡大していくことが必要である。	上記のとおり、法人における改善取り組みはほぼ実施されているが、要求仕様を満たせる業者が他に存在する可能性もあり、今後はメールマガジン登録会社だけでなく、関連業界の団体・加盟企業等を通じて業者情報の収集に努め、応札者・登録者を増やし、入札情報の周知を拡大していくことが必要である。また、不落理由等を分析し、改善事項を踏まえ、適宜改善に努めて戴きたい。	上記のとおり、法人における改善取り組みはほぼ実施されているが、当該装置は製品化されており他業者での取扱いの可能性も含め、関連業界の団体・加盟企業等を通じて業者情報の収集に努め、応札者・登録者を増やし、入札情報の周知を拡大していくことが必要である。また、不落理由等を分析し、改善事項を踏まえ、適宜改善に努めて戴きたい。
(法人における契約監視委員会のコメントに対して講ずる措置)	現在行っている取組を継続するとともに、業界団体や企業等へのヒアリングを通じて特定の業者に頼らないよう仕様内容から調達方法について検討することとした。	現在実施している「調達情報メールマガジン」の配信等により入札情報の展開拡充をより一層進める。また、複数応札による競争の可能性を排除しない仕様等の設定に引き続き取り組むこととする。	現在行っている取組を継続するとともに業界団体や企業等へのヒアリングを通じて購入から保守に至る調達方法について検討することとした。	入札結果の不落・不調については、不落理由等を分析し市場調査を踏まえ、改善に努める。一者応札等については、現在行っている取組を継続するとともに、特に入札情報が業者へ伝わるよう、機構以外での情報提供の機会について積極的に検討し、応札・応募者の拡大に取り組むこととする。	入札結果の不落・不調については、不落理由等を分析し市場調査を踏まえ、改善に努める。一者応札等については、現在行っている取組を継続するとともに、特に入札情報が業者へ伝わるよう、機構以外での情報提供の機会について積極的に検討し、応札・応募者の拡大に取り組むこととする。
本案件を審議した契約監視委員会の委員	契約監視委員会全委員の審議による。	契約監視委員会全委員の審議による。	契約監視委員会全委員の審議による。	契約監視委員会全委員の審議による。	契約監視委員会全委員の審議による。

法人名	独立行政法人海洋研究開発機構	独立行政法人海洋研究開発機構	独立行政法人海洋研究開発機構	独立行政法人海洋研究開発機構	独立行政法人海洋研究開発機構
案件番号	13000034-1 X1	13000056-1 X1	13000264-1 X1	13000169-1 X1	13000202-1 X1
入札及び契約方式	不落随意契約	不落随意契約	不落随意契約	不落随意契約	不落随意契約
契約の件名及び数量	実験用ガス類の購入	むつ研究所構内警備業務	LDAP認証システム保守	海洋生命情報バンクシステム保守	機構内ネットワーク等運用業務支援
契約締結日	平成25年4月1日	平成25年4月1日	平成25年4月1日	平成25年4月1日	平成25年4月1日
契約相手方の商号又は名称等	株式会社巴商会 六ヶ所出張所	青森総合警備保障株式会社	日本電気株式会社 官営業本部	株式会社ユー・エス・イー	KDDI株式会社
入札経緯及び結果	入札公告:平成25年3月12日～平成25年3月18日 書類締切:平成25年3月25日 開札日:平成25年3月27日 *一旦入札中止・再公告	入札公告:平成25年2月1日～平成25年2月12日 書類締切:平成25年2月25日 開札日:平成25年3月15日	入札公告:平成25年2月4日～平成25年2月13日 書類締切:平成25年2月21日 開札日:平成25年3月4日	入札公告:平成25年2月1日～平成25年2月12日 書類締切:平成25年2月25日 開札日:平成25年3月14日	入札公告:平成25年2月1日～平成25年2月12日 書類締切:平成25年2月25日 開札日:平成25年3月11日

一者応札・応募の改善取組内容	改善項目	状況	具体的な取組の内容									
	①調達予定情報の公表と応札者底辺の拡大	○	調達情報メールマガジンを配信した。	○								
②公告へ仕様書等の添付	○	入札公告、公募公告へ仕様書等を添付した。	○	入札公告、公募公告へ仕様書等を添付した。	○	入札公告、公募公告へ仕様書等を添付した。	○	入札公告、公募公告へ仕様書等を添付した。	○	入札公告、公募公告へ仕様書等を添付した。	○	入札公告、公募公告へ仕様書等を添付した。
③仕様書の見直し等	○	過度な要件を禁止した。	○	過度な要件を禁止した。	○	過度な要件を禁止した。	○	過度な要件を禁止した。	○	過度な要件を禁止した。	○	過度な要件を禁止した。
④書類提出締切までの期間確保	-	総合評価落札方式における提案書作成期間を20日間以上確保した。	-	総合評価落札方式における提案書作成期間を20日間以上確保した。	-	総合評価落札方式における提案書作成期間を20日間以上確保した。	-	総合評価落札方式における提案書作成期間を20日間以上確保した。	-	総合評価落札方式における提案書作成期間を20日間以上確保した。	-	総合評価落札方式における提案書作成期間を20日間以上確保した。
⑤地方拠点所在市役所等への公告の掲示	○	地方拠点案件の公告は、所在する市役所等へ掲示依頼した。	○	地方拠点案件の公告は、所在する市役所等へ掲示依頼した。	-	地方拠点案件の公告は、所在する市役所等へ掲示依頼した。	○	地方拠点案件の公告は、所在する市役所等へ掲示依頼した。	-	地方拠点案件の公告は、所在する市役所等へ掲示依頼した。	-	地方拠点案件の公告は、所在する市役所等へ掲示依頼した。
⑥地方拠点における入札会の参加場所選択方式の採用	-	入札会参加場所を選択出来るようにした。	-	入札会参加場所を選択出来るようにした。	-	入札会参加場所を選択出来るようにした。	○	入札会参加場所を選択出来るようにした。	-	入札会参加場所を選択出来るようにした。	-	入札会参加場所を選択出来るようにした。
⑦入札参加辞退理由による辞退理由の把握	○	辞退理由を把握する事により、今後の参考とすることとした。	○	辞退理由を把握する事により、今後の参考とすることとした。	○	辞退理由を把握する事により、今後の参考とすることとした。	○	辞退理由を把握する事により、今後の参考とすることとした。	○	辞退理由を把握する事により、今後の参考とすることとした。	○	辞退理由を把握する事により、今後の参考とすることとした。

法人における事後点検の結果講ずることとした措置	一者応札・応募等の取り組みは、現在対応可能な方策を全て実施した。	一者応札・応募等の取り組みは、現在対応可能な方策を全て実施した。	一者応札・応募等の取り組みは、現在対応可能な方策を全て実施した。	一者応札・応募等の取り組みは、現在対応可能な方策を全て実施した。	一者応札・応募等の取り組みは、現在対応可能な方策を全て実施した。
-------------------------	----------------------------------	----------------------------------	----------------------------------	----------------------------------	----------------------------------

契約監視委員会のコメント	上記のとおり、法人における改善取り組みはほぼ実施されているが、要求仕様を満たせる業者が他に存在する可能性もあり、メールマガジン登録会社だけでなく、関連業界の団体・加盟企業等を通じて業者情報の収集に努め、応札者・登録者を増やし、入札情報の周知を拡大していくことが必要である。また、不落理由等を分析し、改善事項を踏まえ、適宜改善に努めて戴きたい。	地域が限定される業務であるが、上記のとおり、法人における改善取り組みはほぼ実施されていると判断する。今後は調達予定情報の公表については拠点周辺だけでなく、地域を広く広げ、応募者が増やす等の拡大が必要である。また、不落理由等を分析し、改善事項を踏まえ、適宜改善に努めて戴きたい。	上記のとおり、法人における改善取り組みは実施されているが、特殊で専門性の高い業務であることを踏まえ、今後は関連業界の団体・加盟企業等を通じて業者情報の収集に努め、応札業者の拡大に積極的に取り組むことが必要である。また、不落理由等を分析し、改善事項を踏まえ、適宜改善に努めて戴きたい。	上記のとおり、法人における改善取り組みは実施されているが、特殊で専門性の高い業務であることを踏まえ、今後は関連業界の団体・加盟企業等を通じて業者情報の収集に努め、応札業者の拡大に積極的に取り組んでいただきたい。また、不落理由等を分析し、改善事項を踏まえ、適宜改善に努めて戴きたい。	上記のとおり、法人における改善取り組みはほぼ実施されているが、要求仕様を満たせる業者が他に存在する可能性もあり、調達予定情報の公表についてはメールマガジン登録会社だけでなく、関連業界の団体・加盟企業等を通じて業者情報の収集に努め、応札者・登録者を増やし、入札情報の周知を拡大していくことが必要である。また、不落理由等を分析し、改善事項を踏まえ、適宜改善に努めて戴きたい。
(法人における契約監視委員会のコメントに対して講ずる措置)	入札結果の不落・不調については、不落理由等を分析し市場調査を踏まえ、改善に努める。一者応札等については、現在行っている取組を継続するとともに、特に入札情報が業者へ伝わるよう、機構以外での情報提供の機会について積極的に検討し、応札・応募者の拡大に取り組むこととする。	入札結果の不落・不調については、不落理由等を分析し市場調査を踏まえ、改善に努める。一者応札等については、現在行っている取組を継続するとともに、特に入札情報が業者へ伝わるよう、機構以外での情報提供の機会について積極的に検討し、応札・応募者の拡大に取り組むこととする。	入札結果の不落・不調については、不落理由等を分析し市場調査を踏まえ、改善に努める。一者応札等については、現在行っている取組を継続するとともに、業界団体や企業等へのヒアリングを通じて購入から保守に至る調達方法について検討することとした。	入札結果の不落・不調については、不落理由等を分析し市場調査を踏まえ、改善に努める。一者応札等については、現在行っている取組を継続するとともに、業界団体や企業等へのヒアリングを通じて購入から保守に至る調達方法について検討することとした。	入札結果の不落・不調については、不落理由等を分析し市場調査を踏まえ、改善に努める。一者応札等については、現在行っている取組を継続するとともに、業界団体や企業等へのヒアリングを通じて購入から保守に至る調達方法について検討することとした。
本案件を審議した契約監視委員会の委員	契約監視委員会全委員の審議による。	契約監視委員会全委員の審議による。	契約監視委員会全委員の審議による。	契約監視委員会全委員の審議による。	契約監視委員会全委員の審議による。

法人名	独立行政法人海洋研究開発機構	独立行政法人海洋研究開発機構	独立行政法人海洋研究開発機構	独立行政法人海洋研究開発機構	独立行政法人海洋研究開発機構
案件番号	13000468-1 X1	13000235-1 X1	13000146-1 X1	13001698-1 X1	13002791-1 X1
入札及び契約方式	不落随意契約	不調随意契約	不落随意契約	不落随意契約	不落随意契約
契約の件名及び数量	国際海洋環境情報センター海洋科学技術理解増進など支援業務	横浜研究所で使用するガスの供給	「ちきゅう」DPS中間検査工事	潜水技術研修等支援業務	地球シミュレータ研究成果の運用・管理業務支援
契約締結日	平成25年4月1日	平成25年4月1日	平成25年4月10日	平成25年5月13日	平成25年6月7日
契約相手方の商号又は名称等	株式会社マリン・ワーク・ジャパン	東京ガス株式会社 都市エネルギー事業部	三井造船株式会社 艦船・官公庁船・特機営業部	日本海洋計画株式会社	日本レコードマネジメント株式会社
入札経緯及び結果	入札公告:平成25年2月1日～平成25年2月12日 書類締切:平成25年3月5日 開札日:平成25年3月15日	入札公告:平成25年2月15日～平成25年2月25日 書類締切:平成25年3月6日 開札日:平成25年3月22日	入札公告:平成25年3月8日～平成25年3月18日 書類締切:平成25年3月27日 開札日:平成25年4月10日	入札公告:平成25年4月1日～平成25年4月10日 書類締切:平成25年4月24日 開札日:平成25年5月13日	入札公告:平成25年4月18日～平成25年4月30日 書類締切:平成25年5月21日 開札日:平成25年6月7日

一者応札・応募の改善取組内容	改善項目	状況	具体的な取組の内容									
	①調達予定情報の公表と応札者底辺の拡大	○	調達情報メールマガジンを配信した。	○								
②公告へ仕様書等の添付	○	入札公告、公募公告へ仕様書等を添付した。	○	入札公告、公募公告へ仕様書等を添付した。	○	入札公告、公募公告へ仕様書等を添付した。	○	入札公告、公募公告へ仕様書等を添付した。	○	入札公告、公募公告へ仕様書等を添付した。	○	入札公告、公募公告へ仕様書等を添付した。
③仕様書の見直し等	○	過度な要件を禁止した。	○	過度な要件を禁止した。	○	過度な要件を禁止した。	○	過度な要件を禁止した。	○	過度な要件を禁止した。	○	過度な要件を禁止した。
④書類提出締切までの期間確保	○	総合評価落札方式における提案書作成期間を20日間以上確保した。	—	総合評価落札方式における提案書作成期間を20日間以上確保した。								
⑤地方拠点所在市役所等への公告の掲示	○	地方拠点案件の公告は、所在する市役所等へ掲示依頼した。	—	地方拠点案件の公告は、所在する市役所等へ掲示依頼した。								
⑥地方拠点における入札会の参加場所選択方式の採用	—	入札会参加場所を選択出来るようにした。	—	入札会参加場所を選択出来るようにした。	—	入札会参加場所を選択出来るようにした。	—	入札会参加場所を選択出来るようにした。	—	入札会参加場所を選択出来るようにした。	—	入札会参加場所を選択出来るようにした。
⑦入札参加辞退理由による辞退理由の把握	○	辞退理由を把握する事により、今後の参考とすることとした。	○	辞退理由を把握する事により、今後の参考とすることとした。	○	辞退理由を把握する事により、今後の参考とすることとした。	○	辞退理由を把握する事により、今後の参考とすることとした。	○	辞退理由を把握する事により、今後の参考とすることとした。	○	辞退理由を把握する事により、今後の参考とすることとした。

法人における事後点検の結果講ずることとした措置	一者応札・応募等の取り組みは、現在対応可能な方策を全て実施した。	一者応札・応募等の取り組みは、現在対応可能な方策を全て実施した。	一者応札・応募等の取り組みは、現在対応可能な方策を全て実施した。	一者応札・応募等の取り組みは、現在対応可能な方策を全て実施した。	一者応札・応募等の取り組みは、現在対応可能な方策を全て実施した。
-------------------------	----------------------------------	----------------------------------	----------------------------------	----------------------------------	----------------------------------

契約監視委員会のコメント	上記のとおり、法人における改善取り組みはほぼ実施されているが、専門性を要求される特殊業務でもあり、国内の科学館や博物館等の調達情報を可能な範囲で入手し、応札者・応募者の拡大が必要である。また、不落理由等を分析し、改善事項を踏まえ、適宜改善に努めて戴きたい。	上記のとおり、法人における改善取り組みはほぼ実施されているが、要求仕様を満たせる業者が他に存在する可能性もあり、調達予定情報の公表についてはメールマガジン登録会社だけでなく、関連業界の団体・加盟企業等を通じて業者情報の収集に努め、応札業者の拡大に積極的に取り組む必要がある。また、不落理由等を分析し、改善事項を踏まえ、適宜改善に努めて戴きたい。	上記のとおり、法人における改善取り組みは実施されているが、特殊で専門性の高い業務であることを踏まえ、今後は関連業界の団体・加盟企業等を通じて業者情報の収集に努め、応札業者の拡大に積極的に取り組む必要がある。また、不落理由等を分析し、改善事項を踏まえ、適宜改善に努めて戴きたい。	上記のとおり、法人における改善取り組みはほぼ実施されているが、特殊で専門性の高い業務であることを踏まえ、今後は関連業界の団体・加盟企業等を通じて業者情報の収集に努め、応札業者の拡大に積極的に取り組む必要がある。また、不落理由等を分析し、改善事項を踏まえ、適宜改善に努めて戴きたい。	上記のとおり、改善取り組みはほぼ実施されているが、要求仕様を満たせる業者が他に存在する可能性もあり、調達予定情報の公表についてはメールマガジン登録会社だけでなく、関連業界の団体・加盟企業等を通じて業者情報の収集に努め、応札者・登録者を増やし、入札情報の周知を拡大していくことが必要である。また、不落理由等を分析し、改善事項を踏まえ、適宜改善に努めて戴きたい。
(法人における契約監視委員会のコメントに対して講ずる措置)	入札結果の不落・不調については、不落理由等を分析し市場調査を踏まえ、改善に努める。一者応札等については、現在行っている取組を継続するとともに、業界団体や企業等へのヒアリングを通じて特定の業者に頼らないよう仕様内容から調達方法について検討することとした。	入札結果の不落・不調については、不落理由等を分析し市場調査を踏まえ、改善に努める。一者応札等については、現在行っている取組を継続するとともに、業界団体や企業等へのヒアリングを通じて市場調査などを進め、応札・応募者の増加策を検討することとした。	入札結果の不落・不調については、不落理由等を分析し市場調査を踏まえ、改善に努める。一者応札等については、現在行っている取組を継続するとともに、業界団体や企業等へのヒアリングを通じて市場調査などを進め、応札・応募者の増加策を検討することとした。	入札結果の不落・不調については、不落理由等を分析し市場調査を踏まえ、改善に努める。一者応札等については、現在行っている取組を継続するとともに、業界団体や企業等へのヒアリングを通じて特定の業者に頼らないよう仕様内容から調達方法について検討することとした。	入札結果の不落・不調については、不落理由等を分析し市場調査を踏まえ、改善に努める。一者応札等については、現在行っている取組を継続するとともに、業界団体や企業等へのヒアリングを通じて特定の業者に頼らないよう仕様内容から調達方法について検討することとした。
本案件を審議した契約監視委員会の委員	契約監視委員会全委員の審議による。	契約監視委員会全委員の審議による。	契約監視委員会全委員の審議による。	契約監視委員会全委員の審議による。	契約監視委員会全委員の審議による。

法人名	独立行政法人海洋研究開発機構	独立行政法人海洋研究開発機構	独立行政法人海洋研究開発機構	独立行政法人海洋研究開発機構	独立行政法人海洋研究開発機構
案件番号	13000032-1 X1	13000218-1 X1	13000119-1 X1	13000049-1 X1	13000266-1 X1
入札及び契約方式	随意契約事前確認公募	随意契約事前確認公募	随意契約事前確認公募	随意契約事前確認公募	随意契約事前確認公募
契約の件名及び数量	アルゴス衛星サービス	平成25年度 高知コア研究所 科学支援業務	ドリリングエンジニア業務	地球深部探査船「ちきゅう」掘削作業支援のための海流予測業務	横須賀本部通バス運行業務
契約締結日	平成25年4月1日	平成25年4月1日	平成25年4月1日	平成25年4月1日	平成25年4月1日
契約相手方の商号又は名称等	株式会社キュービック・アイ	株式会社マリン・ワーク・ジャパン	株式会社ベッツ	株式会社三菱総合研究所	京浜急行バス株式会社
入札経緯及び結果	公募期間:平成25年3月8日～平成25年3月18日 書類締切:平成25年3月19日 開札日:ー	公募期間:平成25年2月5日～平成25年2月14日 書類締切:平成25年2月15日 開札日:ー	公募期間:平成25年2月8日～平成25年2月18日 書類締切:平成25年2月20日 開札日:ー	公募期間:平成25年2月8日～平成25年2月18日 書類締切:平成25年2月20日 開札日:ー	公募期間:平成25年1月30日～平成25年2月8日 書類締切:平成25年2月12日 開札日:ー

一者応札・応募の改善取組内容	改善項目	状況	具体的な取組の内容	状況	具体的な取組の内容	状況	具体的な取組の内容	状況	具体的な取組の内容
	①調達予定情報の公表と応札者底辺の拡大	○	調達情報メールマガジンを配信した。	○	調達情報メールマガジンを配信した。	○	調達情報メールマガジンを配信した。	○	調達情報メールマガジンを配信した。
	②公告へ仕様書等の添付	○	入札公告、公募公告へ仕様書等を添付した。	○	入札公告、公募公告へ仕様書等を添付した。	○	入札公告、公募公告へ仕様書等を添付した。	○	入札公告、公募公告へ仕様書等を添付した。
	③仕様書の見直し等	○	過度な要件を禁止した。	○	過度な要件を禁止した。	○	過度な要件を禁止した。	○	過度な要件を禁止した。
	④書類提出締切までの期間確保	ー	総合評価落札方式における提案書作成期間を20日以上確保した。	ー	総合評価落札方式における提案書作成期間を20日以上確保した。	ー	総合評価落札方式における提案書作成期間を20日以上確保した。	ー	総合評価落札方式における提案書作成期間を20日以上確保した。
	⑤地方拠点所在市役所等への公告の掲示	ー	地方拠点案件の公告は、所在する市役所等へ掲示依頼した。	ー	地方拠点案件の公告は、所在する市役所等へ掲示依頼した。	ー	地方拠点案件の公告は、所在する市役所等へ掲示依頼した。	ー	地方拠点案件の公告は、所在する市役所等へ掲示依頼した。
	⑥地方拠点における入札会の参加場所選択方式の採用	ー	入札会参加場所を選択出来るようにした。	ー	入札会参加場所を選択出来るようにした。	ー	入札会参加場所を選択出来るようにした。	ー	入札会参加場所を選択出来るようにした。
	⑦入札参加辞退届による辞退理由の把握	ー	辞退理由を把握する事により、今後の参考とすることとした。	ー	辞退理由を把握する事により、今後の参考とすることとした。	ー	辞退理由を把握する事により、今後の参考とすることとした。	ー	辞退理由を把握する事により、今後の参考とすることとした。

法人における事後点検の結果講ずることとした措置	一者応札・応募等の取り組みは、現在対応可能な方策を全て実施した。	一者応札・応募等の取り組みは、現在対応可能な方策を全て実施した。	一者応札・応募等の取り組みは、現在対応可能な方策を全て実施した。	一者応札・応募等の取り組みは、現在対応可能な方策を全て実施した。	一者応札・応募等の取り組みは、現在対応可能な方策を全て実施した。
-------------------------	----------------------------------	----------------------------------	----------------------------------	----------------------------------	----------------------------------

契約監視委員会のコメント	特殊で専門性の高い業務であり、随契約事前確認公募での契約方式は妥当と判断する。今後は関連業界の業者情報の収集に努め、応札業者の拡大の可能性を含めに積極的に取り組んで戴きたい。	特殊で専門性の高い業務であり、随契約事前確認公募での契約方式は妥当と判断する。今後は関連業界の業者情報の収集に努め、応札業者の拡大の可能性を含めに積極的に取り組んで戴きたい。	特殊で専門性の高い業務であり、随契約事前確認公募での契約方式は妥当と判断する。今後は関連業界の業者情報の収集に努め、応札業者の拡大の可能性を含めに積極的に取り組んで戴きたい。	特殊で専門性の高い業務であり、随契約事前確認公募での契約方式は妥当と判断する。今後は関連業界の団体・加盟企業等を通じて業者情報の収集に努め、応札業者の拡大に積極的に取り組んで戴きたい。	地域が限定された特殊で専門性の高い業務であり、随契約事前確認公募での契約方式は妥当と判断する。今後は関連業界の業者情報の収集に努めると共に、横須賀市役所等への掲示依頼等も検討し、応札業者の拡大に積極的に取り組んで戴きたい。
(法人における契約監視委員会のコメント)に対して講ずる措置	特殊で専門性の高い業務であっても、遂行上取り除けない理由が明確なものを除き、入札を阻むことのないように特定の業者しかできない必須要件は排除する等、引き続き過度な要件は禁止し、仕様書の見直しを徹底する。また、公募以外の入札の可能性について、業務に関する応札業者の情報収集に努め、競争入札が可能なのは入札に移行する。	特殊で専門性の高い業務であっても、遂行上取り除けない理由が明確なものを除き、入札を阻むことのないように特定の業者しかできない必須要件は排除する等、引き続き過度な要件は禁止し、仕様書の見直しを徹底する。また、公募以外の入札の可能性について、業務に関する応札業者の情報収集に努め、競争入札が可能なのは入札に移行する。	特殊で専門性の高い業務であっても、遂行上取り除けない理由が明確なものを除き、入札を阻むことのないように特定の業者しかできない必須要件は排除する等、引き続き過度な要件は禁止し、仕様書の見直しを徹底する。また、公募以外の入札の可能性について、業務に関する応札業者の情報収集に努め、競争入札が可能なのは入札に移行する。	特殊で専門性の高い業務であっても、遂行上取り除けない理由が明確なものを除き、入札を阻むことのないように特定の業者しかできない必須要件は排除する等、引き続き過度な要件は禁止し、仕様書の見直しを徹底する。また、公募以外の入札の可能性について、業務に関する応札業者の情報収集に努め、競争入札が可能なのは入札に移行する。	特殊で専門性の高い業務であっても、遂行上取り除けない理由が明確なものを除き、入札を阻むことのないように特定の業者しかできない必須要件は排除する等、引き続き過度な要件は禁止し、仕様書の見直しを徹底する。また、公募以外の入札の可能性について、業務に関する応札業者の情報収集に努め、競争入札が可能なのは入札に移行する。
本案件を審議した契約監視委員会の委員	契約監視委員会全委員の審議による。	契約監視委員会全委員の審議による。	契約監視委員会全委員の審議による。	契約監視委員会全委員の審議による。	契約監視委員会全委員の審議による。

法人名	独立行政法人海洋研究開発機構	独立行政法人海洋研究開発機構	独立行政法人海洋研究開発機構	独立行政法人海洋研究開発機構	独立行政法人海洋研究開発機構
案件番号	13000201-1 X1	13000133-1 X1	13000123-1 X1	13000341-1 X1	13000494-1 X1
入札及び契約方式	随意契約事前確認公募	随意契約事前確認公募	随意契約事前確認公募	随意契約事前確認公募	随意契約事前確認公募
契約の件名及び数量	スーパーコンピュータシステム利用者へのプログラム技術支援	平成25年度地球深部探査センター科学支援業務	平成25年度深海総合研究機空調機器遠隔監視管理業務	高度地震データ受信及びDONETデータ送信回線およびDONETデータの横浜研究所専用回線	海洋観測・分析・データ品質管理等の調査・公開に関する支援業務
契約締結日	平成25年4月1日	平成25年4月1日	平成25年4月1日	平成25年4月1日	平成25年4月1日
契約相手方の商号又は名称等	日本電気株式会社 官公営業本部	株式会社マリン・ワーク・ジャパン	ダイキン工業株式会社	エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社	株式会社マリン・ワーク・ジャパン
入札経緯及び結果	公募期間:平成25年2月26日～平成25年3月7日 書類締切:平成25年3月11日 開札日:—	公募期間:平成25年2月8日～平成25年2月18日 書類締切:平成25年2月22日 開札日:—	公募期間:平成25年1月30日～平成25年2月8日 書類締切:平成25年2月12日 開札日:—	公募期間:平成25年3月1日～平成25年3月11日 書類締切:平成25年3月12日 開札日:—	公募期間:平成25年2月12日～平成25年2月21日 書類締切:平成25年2月22日 開札日:—

一者応札・応募の改善取組内容	改善項目	状況	具体的な取組の内容									
	①調達予定情報の公表と応札者底辺の拡大	○	調達情報メールマガジンを配信した。	○								
②公告へ仕様書等の添付	○	入札公告、公募公告へ仕様書等を添付した。	○	入札公告、公募公告へ仕様書等を添付した。	○	入札公告、公募公告へ仕様書等を添付した。	○	入札公告、公募公告へ仕様書等を添付した。	○	入札公告、公募公告へ仕様書等を添付した。	○	入札公告、公募公告へ仕様書等を添付した。
③仕様書の見直し等	○	過度な要件を禁止した。	○	過度な要件を禁止した。	○	過度な要件を禁止した。	○	過度な要件を禁止した。	○	過度な要件を禁止した。	○	過度な要件を禁止した。
④書類提出締切までの期間確保	—	総合評価落札方式における提案書作成期間を20日間以上確保した。	—	総合評価落札方式における提案書作成期間を20日間以上確保した。	—	総合評価落札方式における提案書作成期間を20日間以上確保した。	—	総合評価落札方式における提案書作成期間を20日間以上確保した。	—	総合評価落札方式における提案書作成期間を20日間以上確保した。	—	総合評価落札方式における提案書作成期間を20日間以上確保した。
⑤地方拠点所在市役所等への公告の掲示	—	地方拠点案件の公告は、所在する市役所等へ掲示依頼した。	—	地方拠点案件の公告は、所在する市役所等へ掲示依頼した。	—	地方拠点案件の公告は、所在する市役所等へ掲示依頼した。	—	地方拠点案件の公告は、所在する市役所等へ掲示依頼した。	—	地方拠点案件の公告は、所在する市役所等へ掲示依頼した。	—	地方拠点案件の公告は、所在する市役所等へ掲示依頼した。
⑥地方拠点における入札会の参加場所選択方式の採用	—	入札会参加場所を選択出来るようにした。	—	入札会参加場所を選択出来るようにした。	—	入札会参加場所を選択出来るようにした。	—	入札会参加場所を選択出来るようにした。	—	入札会参加場所を選択出来るようにした。	—	入札会参加場所を選択出来るようにした。
⑦入札参加辞退届による辞退理由の把握	—	辞退理由を把握する事により、今後の参考とすることとした。	—	辞退理由を把握する事により、今後の参考とすることとした。	—	辞退理由を把握する事により、今後の参考とすることとした。	—	辞退理由を把握する事により、今後の参考とすることとした。	—	辞退理由を把握する事により、今後の参考とすることとした。	—	辞退理由を把握する事により、今後の参考とすることとした。

法人における事後点検の結果講ずることとした措置	一者応札・応募等の取り組みは、現在対応可能な方策を全て実施した。	一者応札・応募等の取り組みは、現在対応可能な方策を全て実施した。	一者応札・応募等の取り組みは、現在対応可能な方策を全て実施した。	一者応札・応募等の取り組みは、現在対応可能な方策を全て実施した。	一者応札・応募等の取り組みは、現在対応可能な方策を全て実施した。
-------------------------	----------------------------------	----------------------------------	----------------------------------	----------------------------------	----------------------------------

契約監視委員会のコメント	特殊で専門性の高い業務であり、随契約事前確認公募での契約方式は妥当と判断する。今後は関連業界の団体・加盟企業等を通じて業者情報の収集に努め、応札業者の拡大に積極的に取り組んで戴きたい。	特殊で専門性の高い業務であり、随契約事前確認公募での契約方式は妥当と判断する。今後は関連業界の業者情報の収集に努め、応札業者の拡大の可能性を含めに積極的に取り組んで戴きたい。	既存設備の管理・運用等の業務については、他者の参入は難しいと考えられ、随契約事前確認公募での契約方式は妥当と判断する。今後は関連業界の業者情報の収集に努め、応札業者の拡大の可能性を含めに積極的に取り組んで戴きたい。	特殊で専門性の高い業務であり、随契約事前確認公募での契約方式は妥当と判断する。今後は関連業界の業者情報の収集に努め、応札業者の拡大の可能性を含めに積極的に取り組んで戴きたい。	特殊で専門性の高い業務であり、随契約事前確認公募での契約方式は妥当と判断する。今後は関連業界の業者情報の収集に努め、応札業者の拡大の可能性を含めに積極的に取り組んで戴きたい。
(法人における契約監視委員会のコメント)に対して講ずる措置	特殊で専門性の高い業務であっても、遂行上取り除けない理由が明確なものを除き、入札を阻むことのないように特定の業者しかできない必須要件は排除する等、引き続き過度な要件は禁止し、仕様書の見直しを徹底する。また、公募以外の入札の可能性について、業務に関する応札業者の情報収集に努め、競争入札が可能なのは入札に移行する。	特殊で専門性の高い業務であっても、遂行上取り除けない理由が明確なものを除き、入札を阻むことのないように特定の業者しかできない必須要件は排除する等、引き続き過度な要件は禁止し、仕様書の見直しを徹底する。また、公募以外の入札の可能性について、業務に関する応札業者の情報収集に努め、競争入札が可能なのは入札に移行する。	特殊で専門性の高い業務であっても、遂行上取り除けない理由が明確なものを除き、入札を阻むことのないように特定の業者しかできない必須要件は排除する等、引き続き過度な要件は禁止し、仕様書の見直しを徹底する。また、公募以外の入札の可能性について、業務に関する応札業者の情報収集に努め、競争入札が可能なのは入札に移行する。	特殊で専門性の高い業務であっても、遂行上取り除けない理由が明確なものを除き、入札を阻むことのないように特定の業者しかできない必須要件は排除する等、引き続き過度な要件は禁止し、仕様書の見直しを徹底する。また、公募以外の入札の可能性について、業務に関する応札業者の情報収集に努め、競争入札が可能なのは入札に移行する。	特殊で専門性の高い業務であっても、遂行上取り除けない理由が明確なものを除き、入札を阻むことのないように特定の業者しかできない必須要件は排除する等、引き続き過度な要件は禁止し、仕様書の見直しを徹底する。また、公募以外の入札の可能性について、業務に関する応札業者の情報収集に努め、競争入札が可能なのは入札に移行する。
本案件を審議した契約監視委員会の委員	契約監視委員会全委員の審議による。	契約監視委員会全委員の審議による。	契約監視委員会全委員の審議による。	契約監視委員会全委員の審議による。	契約監視委員会全委員の審議による。

法人名	独立行政法人海洋研究開発機構	独立行政法人海洋研究開発機構	独立行政法人海洋研究開発機構	独立行政法人海洋研究開発機構	独立行政法人海洋研究開発機構
案件番号	13000200-1 X1	13000159-1 X1	13000223-1 X1	13000012-1 X1	13003601-1 X1
入札及び契約方式	随意契約事前確認公募	随意契約事前確認公募	随意契約事前確認公募	随意契約事前確認公募	随意契約事前確認公募
契約の件名及び数量	MSSG高度化および統合化のための開発業務支援	地球環境変動予測研究のための技術提供	気候変動のリスクに関する基盤情報提供のためのモデル開発・実験遂行業務	「ちきゅう」船主責任保険及び包括賠償責任保険	25年度「研究船」への船主責任保険、海上特殊作業保険及び深海調査システムへの船主責任保険
契約締結日	平成25年4月25日	平成25年5月10日	平成25年5月10日	平成25年5月14日	平成25年5月20日
契約相手方の商号又は名称等	日本電気株式会社 官公営業本部	日本電気株式会社 官公営業本部	日本電気株式会社 官公営業本部	アシュアランスフォアニング・ガード・イェンシディグ	日本船主責任相互保険組合
入札経緯及び結果	公募期間:平成25年3月21日～平成25年4月1日 書類締切:平成25年4月2日 開札日:—	公募期間:平成25年4月3日～平成25年4月12日 書類締切:平成25年4月15日 開札日:—	公募期間:平成25年4月3日～平成25年4月12日 書類締切:平成25年4月15日 開札日:—	公募期間:平成25年3月18日～平成25年3月27日 書類締切:平成25年4月2日 開札日:—	公募期間:平成25年4月17日～平成25年4月26日 書類締切:平成25年4月30日 開札日:—

一者応札・応募の改善取組内容	改善項目	状況	具体的な取組の内容	状況	具体的な取組の内容	状況	具体的な取組の内容	状況	具体的な取組の内容	
	①調達予定情報の公表と応札者底辺の拡大	○	調達情報メールマガジンを配信した。	○	調達情報メールマガジンを配信した。	○	調達情報メールマガジンを配信した。	○	調達情報メールマガジンを配信した。	○
②公告へ仕様書等の添付	○	入札公告、公募公告へ仕様書等を添付した。	○	入札公告、公募公告へ仕様書等を添付した。	○	入札公告、公募公告へ仕様書等を添付した。	○	入札公告、公募公告へ仕様書等を添付した。	○	入札公告、公募公告へ仕様書等を添付した。
③仕様書の見直し等	○	過度な要件を禁止した。	○	過度な要件を禁止した。	○	過度な要件を禁止した。	○	過度な要件を禁止した。	○	過度な要件を禁止した。
④書類提出締切までの期間確保	—	総合評価落札方式における提案書作成期間を20日以上確保した。	—	総合評価落札方式における提案書作成期間を20日以上確保した。	—	総合評価落札方式における提案書作成期間を20日以上確保した。	—	総合評価落札方式における提案書作成期間を20日以上確保した。	—	総合評価落札方式における提案書作成期間を20日以上確保した。
⑤地方拠点所在市役所等への公告の掲示	—	地方拠点案件の公告は、所在する市役所等へ掲示依頼した。	—	地方拠点案件の公告は、所在する市役所等へ掲示依頼した。	—	地方拠点案件の公告は、所在する市役所等へ掲示依頼した。	—	地方拠点案件の公告は、所在する市役所等へ掲示依頼した。	—	地方拠点案件の公告は、所在する市役所等へ掲示依頼した。
⑥地方拠点における入札会の参加場所選択方式の採用	—	入札会参加場所を選択出来るようにした。	—	入札会参加場所を選択出来るようにした。	—	入札会参加場所を選択出来るようにした。	—	入札会参加場所を選択出来るようにした。	—	入札会参加場所を選択出来るようにした。
⑦入札参加辞退届による辞退理由の把握	—	辞退理由を把握する事により、今後の参考とすることとした。	—	辞退理由を把握する事により、今後の参考とすることとした。	—	辞退理由を把握する事により、今後の参考とすることとした。	—	辞退理由を把握する事により、今後の参考とすることとした。	—	辞退理由を把握する事により、今後の参考とすることとした。

法人における事後点検の結果講ずることとした措置	一者応札・応募等の取り組みは、現在対応可能な方策を全て実施した。	一者応札・応募等の取り組みは、現在対応可能な方策を全て実施した。	一者応札・応募等の取り組みは、現在対応可能な方策を全て実施した。	一者応札・応募等の取り組みは、現在対応可能な方策を全て実施した。	一者応札・応募等の取り組みは、現在対応可能な方策を全て実施した。
-------------------------	----------------------------------	----------------------------------	----------------------------------	----------------------------------	----------------------------------

契約監視委員会のコメント	特殊で専門性の高い業務であり、随契約事前確認公募での契約方式は妥当と判断する。今後は関連業界の業者情報の収集に努め、応札業者の拡大の可能性を含めに積極的に取り組んで戴きたい。	特殊で専門性の高い業務であり、随契約事前確認公募での契約方式は妥当と判断する。今後は関連業界の業者情報の収集に努め、応札業者の拡大の可能性を含めに積極的に取り組んで戴きたい。	特殊で専門性の高い業務であり、随契約事前確認公募での契約方式は妥当と判断する。今後は関連業界の業者情報の収集に努め、応札業者の拡大の可能性を含めに積極的に取り組んで戴きたい。	特殊性の高い案件であり、随契約事前確認公募での契約方式は妥当と判断する。今後は保険業界の実態を踏まえ業者情報の収集に努め、応札業者の拡大に積極的に取り組んで戴きたい。	特殊性の高い案件であり、随契約事前確認公募での契約方式は妥当と判断する。今後は保険業界の実態を踏まえた業者情報の収集に努め、応札業者の拡大に積極的に取り組んで戴きたい。
(法人における契約監視委員会のコメント)に対して講ずる措置	特殊で専門性の高い業務であっても、遂行上取り除けない理由が明確なものを除き、入札を阻むことのないように特定の業者しかできない必須要件は排除する等、引き続き過度な要件は禁止し、仕様書の見直しを徹底する。また、公募以外の入札の可能性について、業務に関する応札業者の情報収集に努め、競争入札が可能なのは入札に移行する。	特殊で専門性の高い業務であっても、遂行上取り除けない理由が明確なものを除き、入札を阻むことのないように特定の業者しかできない必須要件は排除する等、引き続き過度な要件は禁止し、仕様書の見直しを徹底する。また、公募以外の入札の可能性について、業務に関する応札業者の情報収集に努め、競争入札が可能なのは入札に移行する。	特殊で専門性の高い業務であっても、遂行上取り除けない理由が明確なものを除き、入札を阻むことのないように特定の業者しかできない必須要件は排除する等、引き続き過度な要件は禁止し、仕様書の見直しを徹底する。また、公募以外の入札の可能性について、業務に関する応札業者の情報収集に努め、競争入札が可能なのは入札に移行する。	特殊で専門性の高い業務であっても、遂行上取り除けない理由が明確なものを除き、入札を阻むことのないように特定の業者しかできない必須要件は排除する等、引き続き過度な要件は禁止し、仕様書の見直しを徹底する。また、公募以外の入札の可能性について、業務に関する応札業者の情報収集に努め、競争入札が可能なのは入札に移行する。	特殊で専門性の高い業務であっても、遂行上取り除けない理由が明確なものを除き、入札を阻むことのないように特定の業者しかできない必須要件は排除する等、引き続き過度な要件は禁止し、仕様書の見直しを徹底する。また、公募以外の入札の可能性について、業務に関する応札業者の情報収集に努め、競争入札が可能なのは入札に移行する。
本案件を審議した契約監視委員会の委員	契約監視委員会全委員の審議による。	契約監視委員会全委員の審議による。	契約監視委員会全委員の審議による。	契約監視委員会全委員の審議による。	契約監視委員会全委員の審議による。

法人名	独立行政法人海洋研究開発機構	独立行政法人海洋研究開発機構	独立行政法人海洋研究開発機構
案件番号	13003697-1 X1	13000199-1 X1	13000154-1 X1
入札及び契約方式	随意契約事前確認公募	随意契約事前確認公募	随意契約事前確認公募
契約の件名及び数量	25年度「みらい」への船主責任保険及び海上特殊作業保険	顕著現象予測のためのシミュレーションプログラム開発	気候変動リスク情報創生に資する気候データ活用のためのカップリングプログラム詳細設計及びプロトタイプ作成
契約締結日	平成25年5月20日	平成25年5月28日	平成25年6月1日
契約相手方の商号又は名称等	アシュアランスフォアニング・ガード・インシディグ	日本電気株式会社 官公営業本部	一般財団法人高度情報科学技術研究機構
入札経緯及び結果	公募期間:平成25年4月17日～平成25年4月26日 書類締切:平成25年4月30日 開札日:—	公募期間:平成25年4月16日～平成25年4月25日 書類締切:平成25年4月26日 開札日:—	公募期間:平成25年4月3日～平成25年4月12日 書類締切:平成25年4月15日 開札日:—

一者応札・応募の改善取組内容	改善項目	状況	具体的な取組の内容	状況	具体的な取組の内容	状況	具体的な取組の内容
	①調達予定情報の公表と応札者底辺の拡大	○	調達情報メールマガジンを配信した。	○	調達情報メールマガジンを配信した。	○	調達情報メールマガジンを配信した。
②公告へ仕様書等の添付	○	入札公告、公募公告へ仕様書等を添付した。	○	入札公告、公募公告へ仕様書等を添付した。	○	入札公告、公募公告へ仕様書等を添付した。	
③仕様書の見直し等	○	過度な要件を禁止した。	○	過度な要件を禁止した。	○	過度な要件を禁止した。	
④書類提出締切までの期間確保	—	総合評価落札方式における提案書作成期間を20日間以上確保した。	—	総合評価落札方式における提案書作成期間を20日間以上確保した。	—	総合評価落札方式における提案書作成期間を20日間以上確保した。	
⑤地方拠点所在市役所等への公告の掲示	—	地方拠点案件の公告は、所在する市役所等へ掲示依頼した。	—	地方拠点案件の公告は、所在する市役所等へ掲示依頼した。	—	地方拠点案件の公告は、所在する市役所等へ掲示依頼した。	
⑥地方拠点における入札会の参加場所選択方式の採用	—	入札会参加場所を選択出来るようにした。	—	入札会参加場所を選択出来るようにした。	—	入札会参加場所を選択出来るようにした。	
⑦入札参加辞退届による辞退理由の把握	—	辞退理由を把握する事により、今後の参考とすることとした。	—	辞退理由を把握する事により、今後の参考とすることとした。	—	辞退理由を把握する事により、今後の参考とすることとした。	

法人における事後点検の結果講ずることとした措置	一者応札・応募等の取り組みは、現在対応可能な方策を全て実施した。	一者応札・応募等の取り組みは、現在対応可能な方策を全て実施した。	一者応札・応募等の取り組みは、現在対応可能な方策を全て実施した。
-------------------------	----------------------------------	----------------------------------	----------------------------------

契約監視委員会のコメント	特殊性の高い案件であり、随契約事前確認公募での契約方式は妥当と判断する。今後は保険業界の実態を踏まえ業者情報の収集に努め、応札業者の拡大に積極的に取り組んで戴きたい。	特殊で専門性の高い業務であり、随契約事前確認公募での契約方式は妥当と判断する。今後は関連業界の団体・加盟企業等を通じて業者情報の収集に努め、応札業者の拡大に積極的に取り組んで戴きたい。	特殊で専門性の高い業務であり、随契約事前確認公募での契約方式は妥当と判断する。今後はベンチャー企業等や関連業界の業者情報の収集に努め、応札業者の拡大に積極的に取り組んで戴きたい。
(法人における契約監視委員会のコメントに対して講ずる措置)	特殊で専門性の高い業務であっても、遂行上取り除けない理由が明確なものを除き、入札を阻むことのないように特定の業者しかできない必須要件は排除する等、引き続き過度な要件は禁止し、仕様書の見直しを徹底する。また、公募以外の入札の可能性について、業務に関する応札業者の情報収集に努め、競争入札が可能なものは入札に移行する。	特殊で専門性の高い業務であっても、遂行上取り除けない理由が明確なものを除き、入札を阻むことのないように特定の業者しかできない必須要件は排除する等、引き続き過度な要件は禁止し、仕様書の見直しを徹底する。また、公募以外の入札の可能性について、業務に関する応札業者の情報収集に努め、競争入札が可能なものは入札に移行する。	特殊で専門性の高い業務であっても、遂行上取り除けない理由が明確なものを除き、入札を阻むことのないように特定の業者しかできない必須要件は排除する等、引き続き過度な要件は禁止し、仕様書の見直しを徹底する。また、公募以外の入札の可能性について、業務に関する応札業者の情報収集に努め、競争入札が可能なものは入札に移行する。
本案件を審議した契約監視委員会の委員	契約監視委員会全委員の審議による。	契約監視委員会全委員の審議による。	契約監視委員会全委員の審議による。

法人名	独立行政法人海洋研究開発機構	独立行政法人海洋研究開発機構	独立行政法人海洋研究開発機構	独立行政法人海洋研究開発機構
案件番号	13005513-1 X1	13004969-1 X1	13006547-1 X1	13008276-1 X1
入札及び契約方式	一般競争入札(総合評価落札方式)	随意契約事前確認公募	随意契約事前確認公募	随意契約事前確認公募*前年度は入札(一者応札)
契約の件名及び数量	業務改革(第2期)の推進支援業務	研究報告会 会場借上げ等業務	第11回地球シミュレーションポジウム 会場借上げ等業務	深海用水中ビデオカメラのレンタル
契約締結日	平成25年7月10日	平成25年7月2日	平成25年8月1日	平成25年8月8日
契約相手方の商号又は名称等	株式会社日本能率協会コンサルティング	株式会社東京国際フォーラム	株式会社コンベンションリンケージ(秋葉原コンベンションホール)	株式会社後藤アクアティックス
入札経緯及び結果	入札公告:平成25年5月28日～平成25年6月6日 書類締切:平成25年6月27日 開札日:平成25年7月10日	公募期間:平成25年6月3日～平成25年6月12日 書類締切:平成25年6月14日 開札日:—	公募期間:平成25年7月8日～平成25年7月17日 書類締切:平成25年7月19日 開札日:—	公募期間:平成25年7月29日～平成25年8月7日 書類締切:平成25年8月8日 開札日:—

一者応札・応募の改善取組内容	改善項目	状況	具体的な取組の内容	状況	具体的な取組の内容	状況	具体的な取組の内容	状況	具体的な取組の内容
	①調達予定情報の公表と応札者底辺の拡大	○	調達情報メールマガジンを配信した。	○	調達情報メールマガジンを配信した。	○	調達情報メールマガジンを配信した。	○	調達情報メールマガジンを配信した。
②公告へ仕様書等の添付	○	入札公告、公募公告へ仕様書等を添付した。	○	入札公告、公募公告へ仕様書等を添付した。	○	入札公告、公募公告へ仕様書等を添付した。	○	入札公告、公募公告へ仕様書等を添付した。	
③仕様書の見直し等	○	過度な要件を禁止した。	○	過度な要件を禁止した。	○	過度な要件を禁止した。	○	過度な要件を禁止した。	
④書類提出締切までの期間確保	○	総合評価落札方式における提案書作成期間を20日以上確保した。	—	総合評価落札方式における提案書作成期間を20日以上確保した。	—	総合評価落札方式における提案書作成期間を20日以上確保した。	—	総合評価落札方式における提案書作成期間を20日以上確保した。	
⑤地方拠点所在市役所等への公告の掲示	—	地方拠点案件の公告は、所在する市役所等へ掲示依頼した。	—	地方拠点案件の公告は、所在する市役所等へ掲示依頼した。	—	地方拠点案件の公告は、所在する市役所等へ掲示依頼した。	—	地方拠点案件の公告は、所在する市役所等へ掲示依頼した。	
⑥地方拠点における入札会の参加場所選択方式の採用	—	入札会参加場所を選択出来るようにした。	—	入札会参加場所を選択出来るようにした。	—	入札会参加場所を選択出来るようにした。	—	入札会参加場所を選択出来るようにした。	
⑦入札参加辞退届による辞退理由の把握	—	辞退理由を把握する事により、今後の参考とすることとした。	—	辞退理由を把握する事により、今後の参考とすることとした。	—	辞退理由を把握する事により、今後の参考とすることとした。	—	辞退理由を把握する事により、今後の参考とすることとした。	

法人における事後点検の結果講ずることとした措置	一者応札・応募等の取り組みは、現在対応可能な方策を全て実施した。	一者応札・応募等の取り組みは、現在対応可能な方策を全て実施した。	一者応札・応募等の取り組みは、現在対応可能な方策を全て実施した。	一者応札・応募等の取り組みは、現在対応可能な方策を全て実施した。
-------------------------	----------------------------------	----------------------------------	----------------------------------	----------------------------------

契約監視委員会のコメント	上記のとおり、法人における改善取り組みはほぼ実施されているが、要求仕様を満たせる業者が他に存在する可能性もあり、調達予定情報の公表についてはメールマガジン登録会社だけでなく、関連業界の団体・加盟企業等を通じて業者情報の収集に努め、応札者・登録者を増やし、入札情報の周知を拡大していく必要がある。また、不調理由等を分析し、改善事項を踏まえ、適宜改善に努めて戴きたい。	上記のとおり、法人における改善取り組みはほぼ実施されているが、要求仕様を満たせる業者が他に存在する可能性もあり、調達予定情報の公表についてはメールマガジン登録会社だけでなく、関連業界の団体・加盟企業等を通じて業者情報の収集に努め、応札者・登録者を増やし、入札情報の周知を拡大していく必要がある。また、不調理由等を分析し、改善事項を踏まえ、適宜改善に努めて戴きたい。	上記のとおり、法人における改善取り組みはほぼ実施されているが、要求仕様を満たせる業者が他に存在する可能性もあり、調達予定情報の公表についてはメールマガジン登録会社だけでなく、関連業界の団体・加盟企業等を通じて業者情報の収集に努め、応札者・登録者を増やし、入札情報の周知を拡大していく必要がある。また、不調理由等を分析し、改善事項を踏まえ、適宜改善に努めて戴きたい。	上記のとおり、法人における改善取り組みはほぼ実施されているが、特殊で専門性の高い業務であること踏まえ、今後は関連業界の団体・加盟企業等を通じて業者情報の収集に努め、応札業者の拡大に積極的に取り組む必要がある。また、不調理由等を分析し、改善事項を踏まえ、適宜改善に努めて戴きたい。
--------------	--	--	--	---

(法人における契約監視委員会のコメント)に対して講ずる措置	現在行っている取組を継続するとともに業界団体や企業等へのヒアリングを通じて市場調査などを進め、応札・応募者の増加策を検討することとしたい。	特殊で専門性の高い業務であっても、遂行上取り除けない理由が明確なものを除き、入札を阻むことのないように特定の業者しかできない必須要件は排除する等、引き続き過度な要件は禁止し、仕様書の見直しを徹底する。また、公募以外の入札の可能性について、業務に関する応札業者の情報収集に努め、競争入札が可能なものは入札に移行する。	特殊で専門性の高い業務であっても、遂行上取り除けない理由が明確なものを除き、入札を阻むことのないように特定の業者しかできない必須要件は排除する等、引き続き過度な要件は禁止し、仕様書の見直しを徹底する。また、公募以外の入札の可能性について、業務に関する応札業者の情報収集に努め、競争入札が可能なものは入札に移行する。	特殊で専門性の高い業務であっても、遂行上取り除けない理由が明確なものを除き、入札を阻むことのないように特定の業者しかできない必須要件は排除する等、引き続き過度な要件は禁止し、仕様書の見直しを徹底する。また、公募以外の入札の可能性について、業務に関する応札業者の情報収集に努め、競争入札が可能なものは入札に移行する。
-------------------------------	---	---	---	---

本案件を審議した契約監視委員会の委員	契約監視委員会全委員の審議による。	契約監視委員会全委員の審議による。	契約監視委員会全委員の審議による。	契約監視委員会全委員の審議による。
--------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------

法人名	独立行政法人海洋研究開発機構	独立行政法人海洋研究開発機構	独立行政法人海洋研究開発機構	独立行政法人海洋研究開発機構	独立行政法人海洋研究開発機構
案件番号	13009535-1 X1	13011800-1 X1	13011957-1 X1	13013848-1 X1	13010510-1 X1
入札及び契約方式	一般競争入札	一般競争入札	一般競争入札	一般競争入札	一般競争入札(技術審査)
契約の件名及び数量	4,000m超ライザ掘削システムについての検討	除雷作業	GPSソンの購入	湿度計検定装置の保守点検	平成25年度横浜研究所特高・高圧受変電設備定期点検
契約締結日	平成25年10月8日	平成25年11月19日	平成25年11月28日	平成25年12月19日	平成25年10月31日
契約相手方の商号又は名称等	三菱重工株式会社	野村建設株式会社	三興通商株式会社	三協インタナショナル株式会社	株式会社八興
入札経緯及び結果	入札公告:平成25年8月30日～平成25年9月9日 書類締切:平成25年9月24日 開札日:平成25年10月8日	入札公告:平成25年10月23日～平成25年11月1日 書類締切:平成25年11月7日 開札日:平成25年11月19日	入札公告:平成25年10月25日～平成25年11月5日 書類締切:平成25年11月15日 開札日:平成25年11月28日	入札公告:平成25年11月19日～平成25年11月28日 書類締切:平成25年12月6日 開札日:平成25年12月19日	入札公告:平成25年9月20日～平成25年9月30日 書類締切:平成25年10月15日 開札日:平成25年10月31日

一者応札・応募の改善取組内容	改善項目		具体的な取組の内容		具体的な取組の内容		具体的な取組の内容		具体的な取組の内容		
	状況	具体的な取組の内容	状況	具体的な取組の内容	状況	具体的な取組の内容	状況	具体的な取組の内容	状況	具体的な取組の内容	
一者応札・応募の改善取組内容	①調達予定情報の公表と応札者底辺の拡大	○	調達情報メールマガジンを配信した。								
	②公告へ仕様書等の添付	○	入札公告、公募公告へ仕様書等を添付した。								
	③仕様書の見直し等	○	過度な要件を禁止した。								
	④書類提出締切までの期間確保	-	総合評価落札方式における提案書作成期間を20日間以上確保した。								
	⑤地方拠点所在市役所等への公告の掲示	-	地方拠点案件の公告は、所在する市役所等へ掲示依頼した。	○	地方拠点案件の公告は、所在する市役所等へ掲示依頼した。	-	地方拠点案件の公告は、所在する市役所等へ掲示依頼した。	○	地方拠点案件の公告は、所在する市役所等へ掲示依頼した。	-	地方拠点案件の公告は、所在する市役所等へ掲示依頼した。
	⑥地方拠点における入札会の参加場所選択方式の採用	-	入札会参加場所を選択出来るようにした。	○	入札会参加場所を選択出来るようにした。	-	入札会参加場所を選択出来るようにした。	-	入札会参加場所を選択出来るようにした。	-	入札会参加場所を選択出来るようにした。
	⑦入札参加辞退届による辞退理由の把握	-	辞退理由を把握する事により、今後の参考とすることとした。								

法人における事後点検の結果講ずることとした措置	一者応札・応募等の取り組みは、現在対応可能な方策を全て実施した。	一者応札・応募等の取り組みは、現在対応可能な方策を全て実施した。	一者応札・応募等の取り組みは、現在対応可能な方策を全て実施した。	一者応札・応募等の取り組みは、現在対応可能な方策を全て実施した。	一者応札・応募等の取り組みは、現在対応可能な方策を全て実施した。
-------------------------	----------------------------------	----------------------------------	----------------------------------	----------------------------------	----------------------------------

契約監視委員会のコメント	上記のとおり、法人における改善取り組みはほぼ実施されているが、要求仕様を満たせる業者が多いとはいえず、メールマガジン登録会社への公表に留まらず、石油関連業界等の業者情報の収集に努める共に、インターネットでの入札情報サービス等の検索エンジン意識し、キーワードや件名の見直しを含め対応が必要である。	上記のとおり、法人における改善取り組みはほぼ実施されているが、要求仕様を満たせる業者が他に存在する可能性もあり、調達予定情報の公表についてはメールマガジン登録会社だけでなく、関連業界の団体・加盟企業等を通じて業者情報の収集に努めるとともに、インターネットでの入札情報サービスの検索エンジン意識した対応が必要である。	上記のとおり、法人における改善取り組みはほぼ実施されているが、要求仕様を満たせる業者が他に存在する可能性もあり、調達予定情報の公表についてはメールマガジン登録会社だけでなく、他法人・大学や関連業界の団体・加盟企業等を通じて業者情報の収集に努めるとともに、インターネットでの入札情報サービスの検索エンジン意識し、キーワードや件名の見直しを含め対応が必要である。	上記のとおり、法人における改善取り組みはほぼ実施されているが、要求仕様を満たせる業者が他に存在する可能性もあり、調達予定情報の公表についてはメールマガジン登録会社だけでなく、他法人・大学や関連業界の団体・加盟企業等を通じて業者情報の収集に努めるとともに、インターネットでの入札情報サービスの検索エンジン意識した対応が必要である。	上記のとおり、法人における改善取り組みはほぼ実施されているが、要求仕様を満たせる業者が他に存在する可能性もあり、調達予定情報の公表についてはメールマガジン登録会社だけでなく、関連業界の団体・加盟企業等を通じて業者情報の収集に努めるとともに、インターネットでの入札情報サービスの検索エンジン意識した対応が必要である。
(法人における契約監視委員会のコメント)に対して講ずる措置	現在行っている取組を継続するとともに業界団体や企業等へのヒアリングを通じて市場調査などを進め、応札・応募者の増加策を検討することとした。	現在行っている取組を継続するとともに業界団体や企業等へのヒアリングを通じて市場調査などを進め、応札・応募者の増加策を検討することとした。	現在行っている取組を継続するとともに業界団体や企業等へのヒアリングを通じて市場調査などを進め、応札・応募者の増加策を検討することとした。	現在行っている取組を継続するとともに業界団体や企業等へのヒアリングを通じて市場調査などを進め、応札・応募者の増加策を検討することとした。	現在行っている取組を継続するとともに業界団体や企業等へのヒアリングを通じて市場調査などを進め、応札・応募者の増加策を検討することとした。
本案件を審議した契約監視委員会の委員	契約監視委員会全委員の審議による。	契約監視委員会全委員の審議による。	契約監視委員会全委員の審議による。	契約監視委員会全委員の審議による。	契約監視委員会全委員の審議による。

法人名	独立行政法人海洋研究開発機構	独立行政法人海洋研究開発機構	独立行政法人海洋研究開発機構	独立行政法人海洋研究開発機構	独立行政法人海洋研究開発機構
案件番号	13011476-1 X1	13012276-1 X1	13013560-1 X1	13010181-1 X1	13011568-1 X1
入札及び契約方式	一般競争入札(総合評価落札方式)	随意契約事前確認公募	随意契約事前確認公募	不随随意契約	不随随意契約
契約の件名及び数量	地球シミュレータ研究成果の運用・管理業務支援	POPPSブイシステム係留系整備・調整	栄養測定用海水標準物質の購入	2014年外国雑誌の購読(Am. Mineral他)	タービン駆動コアリングシステムの陸上評価試験
契約締結日	平成25年11月22日	平成25年12月12日	平成25年12月18日	平成25年10月28日	平成25年11月15日
契約相手方の商号又は名称等	日本レコードマネジメント株式会社	日油技研工業株式会社	株式会社環境総合テクノス	株式会社紀伊屋書店 神奈川静岡営業本部	株式会社エヌエルシー
入札経緯及び結果	入札公告:平成25年10月9日～平成25年10月18日 書類締切:平成25年11月7日 開札日:平成25年11月22日	公募期間:平成25年10月30日～平成25年11月8日 書類締切:平成25年11月11日 開札日:—	公募期間:平成25年11月19日～平成25年11月28日 書類締切:平成25年11月29日 開札日:—	入札公告:平成25年9月24日～平成25年10月3日 書類締切:平成25年10月18日 開札日:平成25年10月28日	入札公告:平成25年10月15日～平成25年10月24日 書類締切:平成25年11月1日 開札日:平成25年11月15日

改善項目	状況	具体的な取組の内容	状況	具体的な取組の内容	状況	具体的な取組の内容	状況	具体的な取組の内容	状況	具体的な取組の内容	
一者応札・応募の改善取組内容	①調達予定情報の公表と応札者底辺の拡大	○	調達情報メールマガジンを配信した。								
	②公告へ仕様書等の添付	○	入札公告、公募公告へ仕様書等を添付した。								
	③仕様書の見直し等	○	過度な要件を禁止した。								
	④書類提出締切までの期間確保	○	総合評価落札方式における提案書作成期間を20日間以上確保した。	—	総合評価落札方式における提案書作成期間を20日間以上確保した。	—	総合評価落札方式における提案書作成期間を20日間以上確保した。	—	総合評価落札方式における提案書作成期間を20日間以上確保した。	—	総合評価落札方式における提案書作成期間を20日間以上確保した。
	⑤地方拠点所在市役所等への公告の掲示	—	地方拠点案件の公告は、所在する市役所等へ掲示依頼した。								
	⑥地方拠点における入札会の参加場所選択方式の採用	—	入札会参加場所を選択出来るようにした。								
	⑦入札参加辞退届による辞退理由の把握	—	辞退理由を把握する事により、今後の参考とすることとした。								

法人における事後点検の結果講ずることとした措置	一者応札・応募等の取り組みは、現在対応可能な方策を全て実施した。	一者応札・応募等の取り組みは、現在対応可能な方策を全て実施した。	一者応札・応募等の取り組みは、現在対応可能な方策を全て実施した。	一者応札・応募等の取り組みは、現在対応可能な方策を全て実施した。	一者応札・応募等の取り組みは、現在対応可能な方策を全て実施した。
-------------------------	----------------------------------	----------------------------------	----------------------------------	----------------------------------	----------------------------------

契約監視委員会のコメント	上記のとおり、法人における改善取り組みはほぼ実施されているが、要求仕様を満たせる業者が他に存在する可能性もあり、調達予定情報の公表についてはメールマガジン登録会社だけでなく、関連業界の団体・加盟企業等を通じて業者情報の収集に努めると共に、インターネットでの入札情報サービス等の検索エンジンを意識した対応が必要である。また、総合評価落札方式の妥当性や不調理由等を分析し、改善事項を踏まえ、適宜改善に努めて戴きたい。	上記のとおり、法人における改善取り組みはほぼ実施されているが、要求仕様を満たせる業者が他に存在する可能性もあり、調達予定情報の公表についてはメールマガジン登録会社だけでなく、他法人・大学や関連業界の団体・加盟企業等を通じて業者情報の収集に努めると共に、インターネットでの入札情報サービス等の検索エンジンを意識し、キーワードや件名の見直しを含め対応が必要である。	上記のとおり、法人における改善取り組みはほぼ実施されているが、要求仕様を満たせる業者が他に存在する可能性もあり、調達予定情報の公表についてはメールマガジン登録会社だけでなく、他法人・大学や関連業界の団体・加盟企業等を通じて業者情報の収集に努めると共に、インターネットでの入札情報サービス等の検索エンジンを意識し、キーワードや件名の見直しを含め対応が必要である。また、不調理由等を分析し、改善事項を踏まえ、適宜改善に努めて戴きたい。	上記のとおり、法人における改善取り組みはほぼ実施されているが、要求仕様を満たせる業者が多いとは言いが、調達予定情報の公表についてはメールマガジン登録会社だけでなく、これまで取引の無かった石油関連業界等を通じて、業者情報の収集に努めると共に、インターネットでの入札情報サービス等の検索エンジンを意識し、キーワードや件名の見直しを含め対応が必要である。また、不調理由等を分析し、改善事項を踏まえ、適宜改善に努めて戴きたい。
--------------	--	--	---	---

(法人における契約監視委員会のコメント)に対して講ずる措置	現在行っている取組を継続するとともに業界団体や企業等へのヒアリングを通じて市場調査などを進め、応札・応募者の増加策を検討することとした。	特殊で専門性の高い業務であっても、遂行上取り除けない理由が明確なものを除き、入札を阻むことのないように特定の業者しかできない必須要件は排除する等、引き続き過度な要件は禁止し、仕様書の見直しを徹底する。また、公募以外の入札の可能性について、業務に関する応札業者の情報収集に努め、競争入札が可能なものは入札に移行する。	現在行っている取組を継続するとともに業界団体や企業等へのヒアリングを通じて市場調査などを進め、応札・応募者の増加策を検討することとした。	現在行っている取組を継続するとともに業界団体や企業等へのヒアリングを通じて市場調査などを進め、応札・応募者の増加策を検討することとした。
-------------------------------	--	---	--	--

本案件を審議した契約監視委員会の委員	契約監視委員会全委員の審議による。	契約監視委員会全委員の審議による。	契約監視委員会全委員の審議による。	契約監視委員会全委員の審議による。	契約監視委員会全委員の審議による。
--------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------

法人名	独立行政法人海洋研究開発機構	独立行政法人海洋研究開発機構
案件番号	13012590-1 X1	13013421-1 X1
入札及び契約方式	不落随意契約	不落随意契約
契約の件名及び数量	汚染防止機構付地層試料採取試作装置の陸上評価試験	高圧ガス設備定期自主検査及び整備
契約締結日	平成25年12月12日	平成25年12月20日
契約相手方の商号又は名称等	株式会社エヌエルシー	株式会社巴商會 六ヶ所出張所
入札経緯及び結果	入札公告:平成25年11月6日～平成25年11月15日 書類締切:平成25年11月28日 開札日:平成25年12月12日	入札公告:平成25年11月19日～平成25年11月28日 書類締切:平成25年12月6日 開札日:平成25年12月20日

改善項目	状況	具体的な取組の内容	状況	具体的な取組の内容
①調達予定情報の公表と応札者底辺の拡大	○	調達情報メールマガジンを配信した。	○	調達情報メールマガジンを配信した。
②公告へ仕様書等の添付	○	入札公告、公募公告へ仕様書等を添付した。	○	入札公告、公募公告へ仕様書等を添付した。
③仕様書の見直し等	○	過度な要件を禁止した。	○	過度な要件を禁止した。
④書類提出締切までの期間確保	-	総合評価落札方式における提案書作成期間を20日間以上確保した。	-	総合評価落札方式における提案書作成期間を20日間以上確保した。
⑤地方拠点所在市役所等への公告の掲示	-	地方拠点案件の公告は、所在する市役所等へ掲示依頼した。	○	地方拠点案件の公告は、所在する市役所等へ掲示依頼した。
⑥地方拠点における入札会の参加場所選択方式の採用	-	入札会参加場所を選択出来るようにした。	○	入札会参加場所を選択出来るようにした。
⑦入札参加辞退届による辞退理由の把握	-	辞退理由を把握する事により、今後の参考とすることとした。	-	辞退理由を把握する事により、今後の参考とすることとした。

法人における事後点検の結果講ずることとした措置	一者応札・応募等の取り組みは、現在対応可能な方策を全て実施した。	一者応札・応募等の取り組みは、現在対応可能な方策を全て実施した。
-------------------------	----------------------------------	----------------------------------

契約監視委員会のコメント	上記のとおり、法人における改善取り組みはほぼ実施されているが、要求仕様を満たせる業者が多いとは言えず、調達予定情報の公表についてはメールマガジン登録会社だけでなく、これまで取引の無かった石油関連業界等を通じて、業者情報の収集に努めると共に、インターネットでの入札情報サービス等の検索エンジンを意識し、キーワードや件名の見直しを含め対応が必要である。また、不調理由等を分析し、改善事項を踏まえ、適宜改善に努めて戴きたい。	上記のとおり、法人における改善取り組みはほぼ実施されているが、要求仕様を満たせる業者が他に存在する可能性もあり、調達予定情報の公表についてはメールマガジン登録会社だけでなく、関連業界の団体・加盟企業等を通じて業者情報の収集に努めると共に、インターネットでの入札情報サービス等の検索エンジンを意識した対応が必要である。また、不調理由等を分析し、改善事項を踏まえ、適宜改善に努めて戴きたい。
(法人における契約監視委員会のコメントに対して講ずる措置)	現在行っている取組を継続するとともに業界団体や企業等へのヒアリングを通じて市場調査などを進め、応札・応募者の増加策を検討することとした。	現在行っている取組を継続するとともに業界団体や企業等へのヒアリングを通じて市場調査などを進め、応札・応募者の増加策を検討することとした。
本案件を審議した契約監視委員会の委員	契約監視委員会全委員の審議による。	契約監視委員会全委員の審議による。

2ヶ年連続一者応札・応募事案フォローアップ票(平成25年度分)

第4四半期

法人名	独立行政法人海洋研究開発機構	独立行政法人海洋研究開発機構
案件番号	13012072-1 X1	13011991-1 X1
入札及び契約方式	随意契約事前確認公募	不落随意契約
契約の件名及び数量	「ちきゅう」船舶保険の更新	大容量ファイルサーバ装置の保守
契約締結日	平成26年1月15日	平成26年3月13日
契約相手方の商号又は名称等	東京海上日動火災保険株式会社 船舶営業部	デジタルテクノロジー株式会社 営業部
入札経緯及び結果	公募期間:平成25年11月7日～平成25年11月18日 書類締切:平成25年11月25日 開札日:－	入札公告:平成26年1月7日～平成26年1月16日 書類締切:平成26年1月29日 開札日:平成26年2月7日

一者応札・応募の改善取組内容	改善項目	状況	具体的な取組の内容	状況	具体的な取組の内容
	①調達予定情報の公表と応札者底辺の拡大	○	調達情報メールマガジンを配信した。	○	調達情報メールマガジンを配信した。
②公告へ仕様書等の添付	○	入札公告、公募公告へ仕様書等を添付した。	○	入札公告、公募公告へ仕様書等を添付した。	
③仕様書の見直し等	○	過度な要件を禁止した。	○	過度な要件を禁止した。	
④書類提出締切までの期間確保	－	総合評価落札方式における提案書作成期間を20日間以上確保した。	－	総合評価落札方式における提案書作成期間を20日間以上確保した。	
⑤地方拠点所在市役所等への公告の掲示	－	地方拠点案件の公告は、所在する市役所等へ掲示依頼した。	－	地方拠点案件の公告は、所在する市役所等へ掲示依頼した。	
⑥地方拠点における入札会の参加場所選択方式の採用	－	入札会参加場所を選択出来るようにした。	－	入札会参加場所を選択出来るようにした。	
⑦入札参加辞退届による辞退理由の把握	－	辞退理由を把握する事により、今後の参考とすることとした。	－	辞退理由を把握する事により、今後の参考とすることとした。	

法人における事後点検の結果講ずることとした措置	一者応札・応募等の取り組みは、現在対応可能な方策を全て実施した。	一者応札・応募等の取り組みは、現在対応可能な方策を全て実施した。
-------------------------	----------------------------------	----------------------------------

契約監視委員会のコメント	上記のとおり、法人における改善取り組みはほぼ実施されているが、本公募方式での複数での1者応札の状況を鑑み、仕様内容・規模が一般的か否かを含め、契約方式について再検討する必要がある。	上記のとおり、法人における改善取り組みはほぼ実施されているが、2年連続1者応札になった原因として仕様内容に問題が無かったか、適正価格の妥当性を含め検証する必要がある。
--------------	--	---

(法人における契約監視委員会のコメントに対して講ずる措置)	機構の保険仲立人によれば、①「ちきゅう」は日本籍船舶かつ外航貨物輸送に従事しない船舶のため、日本国内で船舶保険事業認可を有する保険会社に付保することが法で定められている ②「ちきゅう」が高額案件のため単独保険会社での引受が困難であり、安定的な付保のためには共同保険が適切である、等の理由から仕様内容・規模が特殊であり、実質的な競争は難しいため、契約方式を検討することとした。	仕様内容は調達した物品の保守案件であり、他者の参入が難しい案件であるが、現在行っている取組を継続するとともに業界団体や企業等へのヒアリングを通じて市場調査などを進め、予定価格の妥当性及び応札・応募者の増加策を検討することとした。
-------------------------------	--	--

本案件を審議した契約監視委員会の委員	契約監視委員会全委員の審議による。	契約監視委員会全委員の審議による。
--------------------	-------------------	-------------------